

留学ハンドブック 2019

Handbook for Study Abroad 2019



2019年4月1日発行

編集・発行 上智大学グローバル教育センター (2号館 1階)

Sophia University Center for Global Education and Discovery (1st fl, Bldg. No.2)

窓口時間 [授業期間] (月～金) 10:00-11:30 / 12:30-15:30

[授業期間外] (月～金) 12:30-15:30

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

Tel 03-3238-3521

Fax 03-3238-3554

<https://www.sophia.ac.jp/>

@Sophia_GoGlobal

留学ガイダンス

各回とも同内容 (日本語)

- ① 4月 9日 (火)
- ② 4月 10日 (水)
- ③ 4月 12日 (金)
- ④ 10月 1日 (火)

時間 / 12:40~13:20
場所 / 6-101

Study Abroad Guidance in English

October 2 (Wed)

時間 / 12:40~13:20
Venue / Center for
Global Education
and Discovery

留学フェア

Study Abroad Fair

6月 13日 (木) ・ 14日 (金)
June 13 (Thu) ・ 14 (Fri)

時間 Time / 12:15~15:30 (予定・Tentative)
場所 Venue / 2号館 17F
17th fl, Bldg. No.2

TOEFL 説明会

各回とも同内容

- ① 4月 24日 (水)
- ② 6月 4日 (火)
- ③ 10月 15日 (火)

時間 / 12:40~13:20
場所 / 2-508

STUDY ABROAD

Handbook for Study Abroad 2019



SOPHIA UNIVERSITY

留学ハンドブック 2019

上智大学 グローバル教育センター

学生留学委員会委員長からのメッセージ

Message from Chairperson of the Sophia Student Exchange Committee



学生留学委員会委員長

杉村 美紀 教授

(グローバル化推進担当副学長／総合人間科学部教授
Vice President for Global Academic Affairs/
Professor, Faculty of Human Sciences)

今、この「留学ハンドブック」を手にとってくださった皆さんは、「留学」にどのようなイメージを重ねているのでしょうか。大学に入ったら是非どこかに留学したいとずっと考えていた人、留学するという友達の話聞いて自分も少し考えてみようかと思っている人、興味はあるけれども実際にはなかなか難しいのではと思いつつ、とりあえず何が書かれているのかだけでも読んでみようという人など、思いは人それぞれだと思います。ともかくも、ご縁あって上智大学の留学プログラムに関心をお持ちくださった皆さんには、この機会を、自分が進もうと考える道を切り開く一歩として、留学が大学生活での学びとして、どのような意味を持つのかを考えるきっかけとしていただければと思います。

今日、国際社会のグローバル化や国際化はさまざまな新しい挑戦や可能性を生んでいます。情報技術の発展により、瞬時にしてつながるインターネットやコミュニケーション手段の進化が国境を越えた交流を促し、今では海外の大学の教室とつないで合同授業を行うことも夢ではなくなりました。その一方では人の国際移動も活発になり、多くの人々が様々に行き交う機会が増えました。そこでは、異文化を理解することや、多様な文化を持つ人々の共生が重要な課題になっています。社会のあり方も大きく変化し、私たち一人一人の生活も、今や海外の人々との繋がり無しには成り立たない時代になっています。こうした現代社会の状況と、そしてこれから皆さんが社会に出て活躍される近未来の世界の様子を考えた時、私たちは今どのような学びを経験し、そこからどのような知識や技術、技能を身に付けておくべきでしょうか。国際社会が共通の目標としている持続可能な開発目標 (SDGs) のなか

で、「教育」という目標が掲げられ、グローバル・シティズンシップの育成ということが挙げられていますが、国境を越えて活躍するそうした人々を育てることこそ、「世界をつなぐ人になれ」を謳った上智大学の教育プログラムの根幹です。本学の教育プログラムは、まさにそうした人材育成のために設けられたものであり、様々な言語のコミュニケーションスキルや異文化理解・対応能力、多角的なものの見方、批判的思考力、論理的構成力などの育成が企図されています。

このハンドブックに掲載されている様々な留学プログラムも、そうした教育プログラムの一環として位置付けられています。留学の実現には、様々な条件が整う必要があり、同時に健康や治安などの点で安全な留学生活が守られるように留意することも大切になりますが、そうした留学計画や準備を通して自分の進む方向を考えることは、既にそれ自体が意義深いことであると考えます。今では毎年300名以上の学生が世界各地の協定校 (2019年3月現在57カ国290校) に1年間または1学期 (半年) の留学をし、海外からも毎年500名以上の外国人留学生在が交換留学生として来日します。また、協定校以外にも、「一般留学」「休学留学」の形で留学する例や、通常の交換留学のほかにも、目的によって「英語集中コース」、中南米諸国の大学との交換プログラムLAPなども展開しています。こうした上智のプログラムは、これまで多くの先輩たちによって築かれてきたものです。皆さんが、上智大学の特色ある留学プログラムを利用して学びの場を世界へと広げられ、ソフィアンとしての活躍の一歩を踏み出されることを心から願っています。

CONTENTS 目次

Regarding items marked with “*”, there are brief explanations in English from P.76 for students in English-based Undergraduate / Graduate programs.

学生留学委員会委員長からのメッセージ

Message from Chairperson of the Sophia Student Exchange Committee	1
2019年度イベントカレンダー Events Calendar 2019	5
数字で見る上智大学の留学 Study Abroad at Sophia in numbers	7
HOT TOPICS	9
Q&A	11

第Ⅰ部 上智大学での留学 Studying Abroad at Sophia University

A. 留学を決める前に Before Deciding to Study Abroad	14
B. 留学を決めたら Preparation for Study Abroad	15
C. 情報収集 Collecting Information	16
D. 上智大学での留学の種類 Study Abroad Programs at Sophia University	19
(1) 長期留学 Long-Term Study Abroad	21
① 交換留学 Sophia Exchange Program	
② 一般留学 General Study Abroad	
③ 休学留学 Studying Abroad during Leave of Absence	
④ インターンシップ科目(中期・長期) Internship Course (Medium・Long-Term)	
⑤ 国連ユースボランティア Sophia University UN Youth Volunteers	
(2) 短期留学 Short-Term Study Abroad	22
① 海外短期語学講座 Overseas Short-Term Language Course	22
② 海外短期研修 Short-Term Overseas Training	24
③ 実践型プログラム Social Engagement Programs	26
④ インターンシップ科目(短期) Internship Course (Short-Term)	28

第Ⅱ部 交換留学 Sophia Exchange Program

1. 交換留学出願手続等	
Application Procedures for Sophia Exchange Program*	30
A. 募集時期 Application Deadlines and Selections*	30
B. 出願および留学資格 Eligibility and Requirements*	31
C. その他出願の留意点 Notes of Importance*	32
D. 出願に必要な書類 Application Materials*	33
E. 選考方法 Selections*	33
F. 交換留学学内選考試験合格後の手続き Procedures after Internal Selection*	33
G. 交換留学時に見込まれる費用 Estimated Costs for Exchange Program	34
2. 目的に合わせた交換留学プログラム Various Exchange Programs	35
A. 英語集中コース Intensive English Course	35
B. Sophia AIMS (SAIMS) プログラム Sophia AIMS (SAIMS) Program	37

C. Sophia-Nanzan Latin America Program (LAP)	37
D. ACUCA 枠交換留学 ACUCA SMS Program	40
E. 3キャンパス枠交換留学(上智大学・西江大学・香港城市大学 3キャンパス東アジア地域研究国際共同プログラム) Three-Campus East Asian Studies by Sophia University- Sogang University-City University of Hong Kong	40
3. 交換留学協定校一覧 Information on Exchange Partner Institutions	41

第Ⅲ部 大学院生の留学 Study Abroad Program for Graduate Students

1. 在学中の留学 Study Abroad Programs at Sophia University	
A. 交換留学プログラム Exchange Program	55
B. Graduate Institute (スイス・ジュネーブ) との3+2プログラム	56
2. 海外大学院特別進学制度 Special Admission Program for Overseas Graduate School	57

第Ⅳ部 留学に関する規則 Regulations

A. 留学の資格 Eligibility of Study Abroad	59
B. 留学の期間 Duration of Study Abroad	59
C. 留学の延長または取消し Extension or Withdrawal of Study Abroad	59
D. 留学前後の手続一覧 List of Proceedings Before and After Study Abroad	60
E. 履修登録について Course Registrations	61
F. 単位換算について Credit Transfer*	61

第Ⅴ部 留学に必要な準備 Preparation for Study Abroad

1. 留学中の留意点 Things to Remember while Studying Abroad	66
A. 危機管理 Crisis Management	66
B. 海外留学保険および危機管理サービスへの加入義務について Compulsory Study Abroad Insurance and Safety Management Service	68
C. メンタルヘルスについて Mental Health	69
2. 留学のための語学能力試験 Language Proficiency Tests for Study Abroad	70
A. TOEFL iBT® テストについて Information on TOEFL iBT®	70
B. IELTS™ について Information on IELTS™	71
3. 留学費用について Costs of Study Abroad	72
A. 滞在費について Living Expenses	72
B. 海外勉強中の上智大学学費について Sophia Tuition during Study Abroad	72
C. 奨学金について Scholarships	73

General Information on Study Abroad for Students in English-based Undergraduate / Graduate Programs*	76
---	----

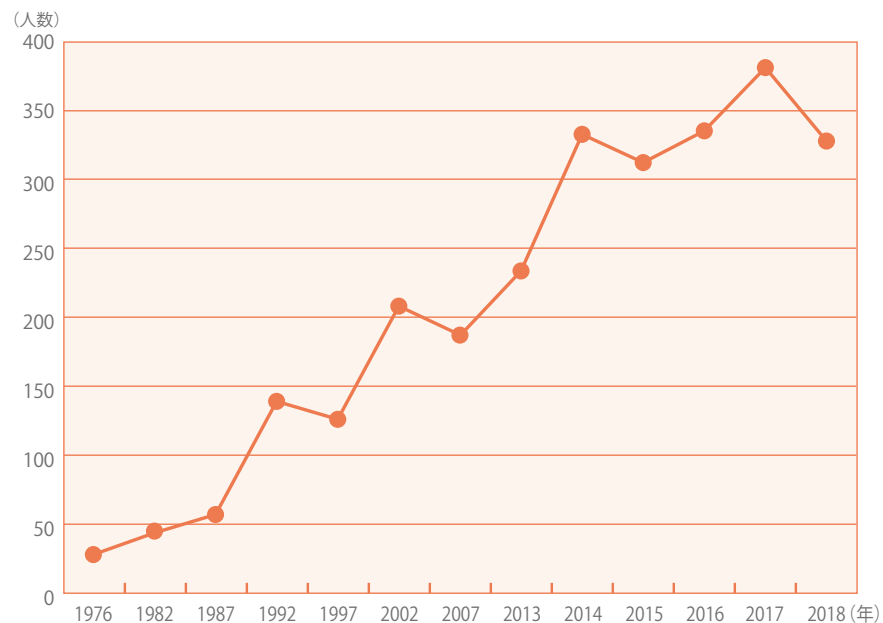
2019年度イベントカレンダー

	年	2019											2020												
		学期	春学期					秋学期						春学期											
			月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6以降							
長期留学	交換留学 SAIMS・LAP	春 (2020年2月～3月出発)	募集要項公開 (Loyolaダウンロードセンター) プログラム説明会		6月4・5日 願書受付 6月下旬 面接 7月 合格発表 合格者ガイダンス		(定員に満たない場合は 追加募集)			渡航前 オリエン テーション		2月～3月出発													
	秋 (2020年8月～9月出発)	募集要項公開 (Loyolaダウンロードセンター) プログラム説明会		10月3・4日 願書受付 11月 面接 12月 合格発表 合格者ガイダンス		(定員に満たない場合は追加募集)						渡航前 オリエン テーション		8～9月 出発											
	英語集中 コース	2020年8月 出発	募集要項公開 (Loyolaダウンロードセンター) プログラム説明会		10月1・2日 願書受付 11月 面接 12月 合格発表 合格者ガイダンス		(定員に満たない場合は追加募集)						渡航前 オリエン テーション		8月出発										
	インターンシップ 科目(中期・長期) ※実習先(国内・海外)によって異なる【右記は一例】	(前学期) 申込受付・選考・ 履修者決定	ガイダンス・ 事前講義・ 実習		実習・ 事後講義		(19年度秋もしくは 20年度の実習) 申込受付・ 選考・履修者決定			ガイダンス・ 事前講義・ 実習		実習・ 事後講義		(20年度) 申込受付・ 選考・履修者決定		ガイダンス・ 事前講義・ 実習		実習							
	国連ユース ボランティア ※	(前学期) 説明会開催・ 派遣国発表	学内選考		UNVによる 最終選考		派遣者 決定		事前研修		派遣先へ 出発		実習		派遣先 から帰国 (20年度) 説明会・ 申込受付		(19年度) 活動 報告会		学内選考		UNVによる 最終選考		派遣者 決定		
短期留学	海外短期 語学講座 海外短期研修	17～19日 夏期プログラム 申込受付 (英語圏)	8～10日 夏期プログラム 申込受付 (英語圏以外)	オリエンテーション		プログラム実施		16～18日 春期プログラム 申込受付 (英語圏)	6～8日 春期プログラム 申込受付 (英語圏以外)	オリエンテーション		プログラム実施													
	実践型 プログラム	休暇中 プログラム		夏期プログラム 申込受付		オリエンテーション		プログラム実施		春期プログラム 申込受付		オリエンテーション		プログラム実施											
	インターン シップ科目 (短期)	履修説明会・ 申込受付		選考・ 履修者決定		ガイダンス・ 事前講義実施		実習		実習・ 事後講義		履修説明会・ 申込受付		選考・ 履修者決定		ガイダンス・ 事前講義実施		実習		実習・ 事後講義		履修説明会・ 申込受付		選考・ 履修者決定	
学内行事	留学 ガイダンス		13・14日 留学フェア		中南米 フェア				留学 ガイダンス																

※2019年度は休講(実施はありません)

数字で見る上智大学の留学

交換留学派遣者数：324名（2018年度）※英語集中コース、LAP、SAIMS等のプログラム含む
 上智大学の交換留学派遣者数は増加傾向にあります。本学は「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択されており、今後更なる派遣者数増加、留学プログラムの多様化が見込まれます。



一般留学者数：32名（2018年度）



休学留学者数：201名（2018年度）



海外短期語学講座参加者数：342名（2018年度）



海外短期研修参加者数：80名（2018年度）

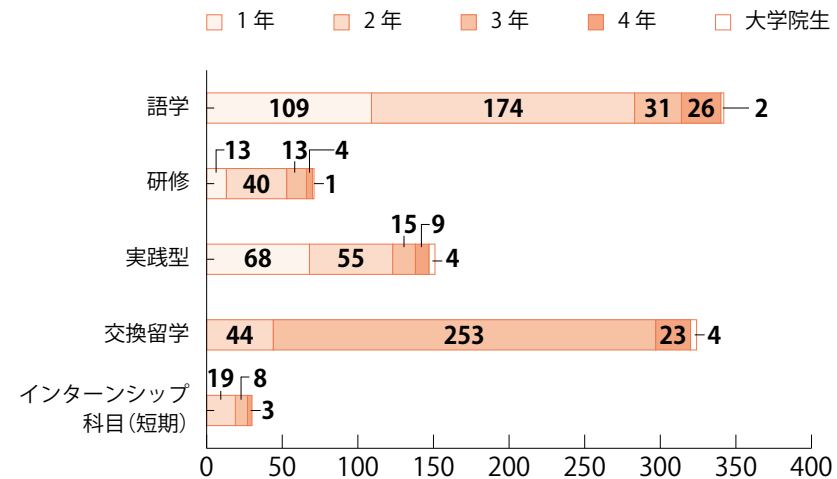


実践型プログラム：141名（2018年度）

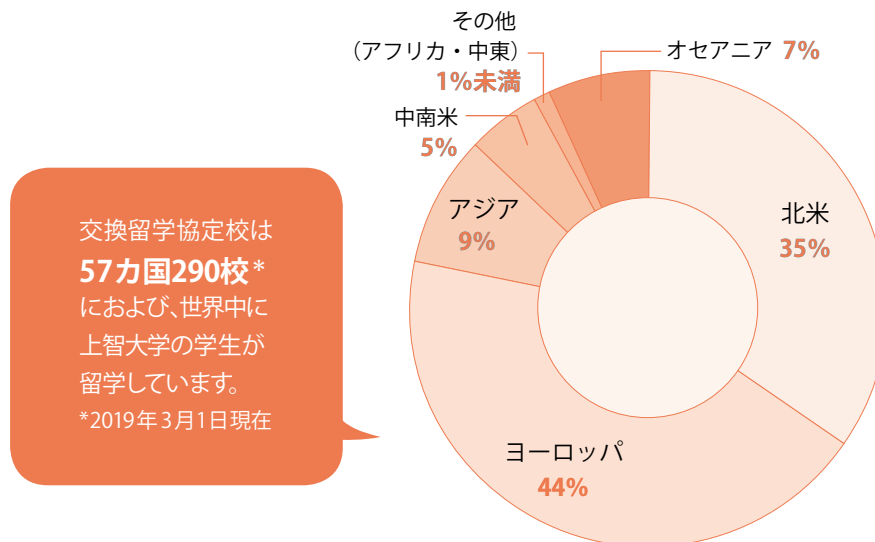


※上記留学プログラムの他、ドイツ語学科在外履修制度や海外インターンシッププログラムにより海外で学ぶ学生も増加しています。

留学年次（2018年度）



留学地域（2018年度）



交換留学協定校は
57カ国290校*
 におよび、世界中に
 上智大学の学生が
 留学しています。
 *2019年3月1日現在

HOT TOPICS

1. 2019年度の学期区分の変更（セメスター・クォーター併用制について）

学生のモビリティ（国際流動性）向上と、海外も含む学外での多様な学びを可能とする目的で、2019年4月よりセメスター・クォーター併用制（※注）を導入します。一定数のクォーター科目を各学科のカリキュラムにあわせて特定年次・学期（主に3年の春学期／1Q（4～6月）・2Q（6～7月））に集中して開講し、多様な留学パターンへの対応や海外インターンシップ等への参加をしやすくするクォーター（Sophia Quarter Abroad）を設けます。

（※注）クォーター制とは：従来のセメスター制（2学期制）の学期期間を半分に分割した4学期制のこと。

【モビリティ向上に向けた変更や期待される効果】

- クォーター単位での休学や留学が可能となる。また、クォーターと休暇期間を組み合わせて、少し長めに海外で留学や活動を行うことが可能となる。
- 留学前後でクォーター科目を履修し、単位を修得することが可能になる（履修登録期間や成績評価はセメスター単位で実施・公表される）。
- クォーター単位の休学をした場合の授業料・教育充実費・実験実習費は各学期学費の1/2相当額が減額される。大学では新たな留学プログラムや単位認定制度を導入予定です。今後随時Loyolaや大学HPでご案内していきます。

※学期区分と授業時間割の変更に関する詳細は、2019年度履修要覧をご確認下さい。

★交換留学については、1学期間（2クォーター分）または1年間（4クォーター分）の留学期間を選択できます（1クォーターのみの交換留学は不可）。ただし、1年間留学の場合に限り、留学先大学の学事日程が2Qまたは4Qの開始前に終了する場合、2Qまたは4Qから復学し、クォーター科目や、上智で行われるサマーセッション科目を履修することができます。

（例）

《春出発（2～3月出発）、1年間留学の場合》

2019年1・2Q	2019年3Q	2019年4Q
交換留学	交換留学	上智大学でクォーター科目を履修

※留学先大学の学事日程が、2019年4Q開始前までに終了し、所定の手続きを完了する必要があります。終了しない場合や、帰国しての授業履修の予定がない場合は、2019年4Qも交換留学期間となり、上智大学での科目履修はできません。

《秋出発（8～9月出発）、1年間留学の場合》

2019年3・4Q	2020年1Q	2020年2Q
交換留学	交換留学	上智大学でクォーター科目を履修

※留学先大学の学事日程が、2020年2Q開始前までに終了し、所定の手続きを完了する必要があります。終了しない場合や、帰国しての授業履修の予定がない場合は、2020年2Qも交換留学期間となり、上智大学での科目履修はできません。

2. 米国大学との協働学習を促進する

Collaborative Online International Learning (COIL) 事業の開始について

上智大学がお茶の水女子大学、静岡県立大学と合同で申請した「人間の安全保障と多文化共生に係る課題発見型国際協働オンライン学習プログラムの開発」が、平成30年度文部科学省「大学の世界展開力強化事業～COIL型教育を活用した米国等の大学間交流形成支援～」に採択されました。

この事業の対象となる授業科目では、連携する米国大学とオンラインで接続し、日本にいながら米国の学生と共に学んだり、あるいは連携先教員による講義が一部に組み込まれたりすることで、受講者の国際的な学びを促進します。また、連携大学への交換留学や語学講座・短期研修では、COILを利用した事前準備プログラムが用意され、留学に向けての準備を充実させていきます。

【米国連携大学】

Boston College, Gonzaga University, Loyola Marymount University, Marquette University, Seattle University, University of California, Davis, The University of North Carolina at Charlotte, University of Portland, University of San Francisco

3. 中南米への留学プログラムが5年目を迎えます！

「Sophia-Nanzan Latin America Program (LAP)」

LAPとは、文部科学省の補助事業「大学の世界展開力強化事業」に採択され、一部渡航費支援や特別なプログラムを組み込んだ、上智大学・南山大学・上智大学短期大学部による中南米留学プログラムです。補助事業には5年間の期限が設けられており、2019年度は文部科学省の支援がある最終年度となります。この機会に、中南米留学を考えてみませんか？

(1) プログラムの種類

・長期留学（1年または1学期）※英語、スペイン語、ポルトガル語で留学可
メキシコ4校、コロンビア2校、ペルー1校、チリ1校、アルゼンチン2校、ブラジル3校、計6カ国13大学（詳細はP.37へ）

・短期留学（夏期または春期休暇中実施）

1) 教皇立ハベリアナ大学（コロンビア）短期研修（夏期休暇中実施）※スペイン語

2) ペルー・スタディツアー「往還する南米日系人」（春期休暇中実施）※英語

（各プログラムの詳細はP.39へ）

(2) LAP留学のメリット

・上智でのLAP必修科目：同様に履修必須としている中南米からの受入留学生と共に学び、授業内外で交流が深められる

・インターンシップ（企業訪問型）の機会：日本および留学先で、LAPに賛同いただいている企業等の会社訪問の機会がある

・LAPコーディネーターによる支援：留学前の準備から現地の危機管理情報提供、滞在中の生活まで支援

・渡航費一部支援：渡航費用の一部を補助（2019年度中出発のプログラムに限る）

ここでは、留学についてよくある質問をまとめています。
まずはこのページを読んで確認をしてください。

1. 留学全般について

Questions	Answers
留学にはどのような種類がありますか？	留学は大きく分けて、 <u>長期留学</u> （1学期または1年間）と <u>短期留学</u> （長期休暇期間を利用した数週間程度の短期プログラム）があります。また、長期留学には、 <u>交換留学</u> と <u>私費留学</u> （ <u>一般留学・休学留学</u> ）があります。種類により、選考手続き、単位換算の有無、4年間での卒業が可能かどうか等が変わってきますので、比較検討してみてください。 ⇒詳細はこちら：p.19～20
留学についての情報はどこで入手できますか？	上智大学の留学プログラムについての冊子は、「留学ハンドブック」のほかに、「PROGRAM GUIDE」、「留学を考えたことのないあなたへ」（1年生向け冊子）をグローバル教育センター窓口で配布しています（「留学ハンドブック」は上智大学のWebサイトからもダウンロード可）。また、各プログラムの出願要件や情報、TOEFLスコア等の語学要件、先輩学生の留学体験レポートは、 <u>Loyolaのダウンロードセンター</u> や上智大学のWebサイトに随時掲載しています。 どの大学でどのような分野の勉強ができるかは各大学の公式サイトで確認してください。 留学に関する一般的な情報は、各国大使館のWebサイト等も参考になりますので、確認してください。 ⇒詳細はこちら： 【Loyola】Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター内の各フォルダ 【上智大学Webサイト】 https://www.sophia.ac.jp/jpn/global/index.html 【学外での情報収集】p.18
留学に行きたいのですが、どこから準備を始めたらいかがわかりません。	留学準備の初期段階にいる皆さんは、留学カウンセリング制度をぜひご利用ください。留学に関する様々な相談ができます。 ⇒詳細はこちら：p.16 また、各種プログラムの出願に関する詳細についてはグローバル教育センター窓口でも随時受け付けています。
留学についての説明会はいつ実施していますか？	上智大学の留学プログラム全体像については、各学期の初め（4月・10月）に実施しています。また、交換留学や短期・実践型プログラムについては、募集前に説明会を別途開催しています。開催日時については、随時Loyolaのグローバル教育センター掲示板やTwitter等でご案内しますので確認してください。

2. 交換留学について

Questions	Answers
交換留学に行くための条件は？	GPAが2.8以上あること、留学を希望する大学の語学要件等を満たすこと、英語圏はTOEFL iBTのスコアを提出すること（イギリスはIELTSのスコアも必要）（※いずれも有効期限内のもの）、学科長・保証人の承諾があること、心身ともに健康であること、が最低限の条件となります。詳細は「第Ⅱ部 交換留学」（p.30～）の頁を参照してください。語学要件は、Loyolaダウンロードセンターにて確認してください。
交換留学先大学で取得した単位は、卒業に必要な単位として換算されますか？	交換留学の場合、上限30単位まで換算することができますが、履修した全ての科目について認められるわけではありません。どのような科目が換算されるのか、事前に所属学科に相談をしてください。ただし、実際に何単位換算されるかどうかは帰国後に所定の手続きを経たうえで決定されます。 ⇒単位換算時の手続き・条件についてはこちら：p.61～
帰国後学内でできる活動はありますか？	例えば、第2クォーターの期間中に海外からの大学生を対象としたサマーセッションが開講されます。世界中からの留学生と一緒に日本の文化、経済、政治、社会について学ぶことができます。サマーセッションは第2クォーター開始前に特別な履修登録期間が設けられます。 ⇒詳細はこちら： https://www.sophia.ac.jp/eng/admissions/summer/summer_asia/index.html その他、海外からの交換留学生をサポートするボランティア活動や空港出迎えアルバイトに参加することもできます。登録はグローバル教育センター窓口で受け付けています。
留学のための奨学金はありますか？	日本学生支援機構の奨学金等、様々な奨学金があります。家計基準や留学先等で条件が異なりますので、詳細を確認のうえ出願してください。 ⇒詳細はこちら：p.73～74
留学すると就職活動にどのように影響しますか？	就職活動の時期等、キャリアセンターにご相談ください。 ⇒詳細はこちら：p.17



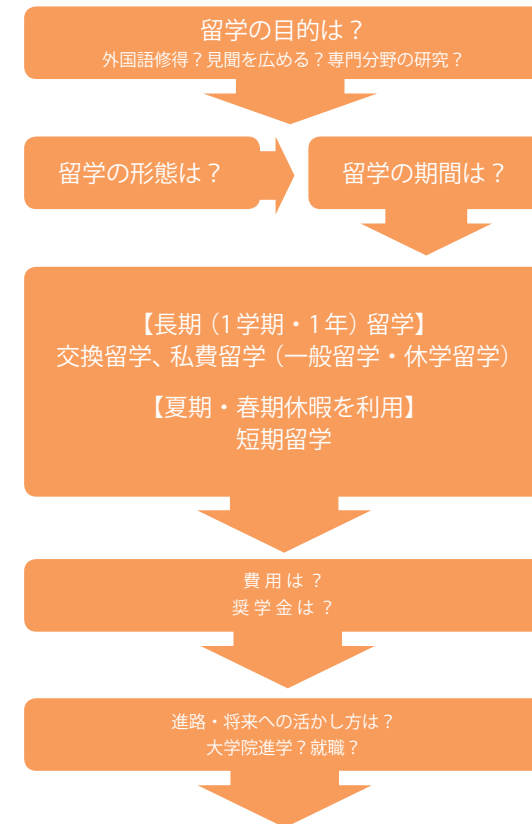
第 I 部 | 上智大学での留学

part1. Studying Abroad at Sophia University



A 留学を決める前に

留学には様々な形態や期間のものがあります。決める前に自分の優先順位を整理してみましょう。



留学の形態や内容により、本学での単位換算の可否や留学期間の修業年限への算入の可否が異なります。また、留学中の授業料や生活費など経済的な準備も欠かせません。留学時期によっては、就職活動と留学期間が重なってしまうケースや卒業時期が遅くなる場合もあります。

留学に行くことで想定される様々なケースについて熟考し、海外に行くことを決断する前に、もう一度「いつ、何をどんなふうに勉強したいか」と「留学経験をその後どのように活かしていきたいか」等、自身のキャリアプランを描き、判断してください。

B 留学を決めたら

留学することを決めたら、準備や手続きの確認に入りましょう。海外の学校への出願やビザの取得など、留学手続きには思っている以上に時間と労力がかかります。留学を決意したら、希望留学先への入学時期などを調べ、逆算してスケジュールを立ててください。プログラムの形態にもよりますが、長期で留学する場合、出願資格を満たすための語学試験受験のため、出発の1年半～2年前くらいから準備する必要があります。春期・夏期休暇中のプログラム参加にも、約4カ月前の申込が必要です。

準備 出発の1年半～2年前

Step 1：留学形態の決定

- 留学の目的を明確化・留学形態の決定
- 申込時期の確認
- 十分な資金があるか家族に相談、奨学金情報の収集
- 卒業時期はどうか、留学と将来の関連性を考える

Step 2：留学先選択

- 一般的な留学情報や希望する国・地域、大学の情報収集
- 希望留学先の絞り込み
- 出願条件確認、語学試験の受験
- (私費留学) 留学先の申込書類取り寄せ
- (交換留学、一般留学) 所属学科長に相談

Step 3：出願

- (交換留学) 出発の概ね1年前に出願・学内選考あり
- 願書その他必要書類を締切りまでに送付

Step 4：留学先大学への入学手続き

- パスポート取得、期限確認
- 入学許可書類の受け取り
- 宿舍手配
- 諸費用の支払い

Step 5：渡航準備

- 予防接種
- ビザ取得
- 航空券・指定海外留学保険・危機管理サービスの加入手配
- 「留学願(交換留学・一般留学)」「休学願(海外勉学)」等を本学に提出

出発

P.5-6に2019年度にグローバル教育センターで取り扱っている各種プログラムのスケジュールを掲載しています！

C 情報収集

[学内での情報収集]

海外留学の実現には、まず手続きの流れや必要な要件、資料等の情報収集が欠かせません。留学準備のための情報収集手段として、学内では下記の窓口等にてサポートを行っています。

(1) グローバル教育センター

窓口時間内いつでも相談できますので、質問のある場合には、気軽に下記各担当へお問合せください。

交換留学(派遣・受入)

海外短期プログラム(語学講座・短期研修・実践型プログラム)

留学カウンセリング、協定締結、海外渡航保険・危機管理サービス加入、その他国際連携に関する業務

インターンシップ科目

グローバル・コンピテンシー・プログラム(GCP)

その他グローバル教育センター開講科目

Sophia Short-term Programs (Summer Session等)

(2) Loyolaダウンロードセンター

交換留学・短期プログラムの帰国レポートや募集要項、交換留学協定校のInformation Sheetなどを確認することができます。

Loyola > ダウンロードセンター > [グローバル教育センター] フォルダ内

(3) 留学カウンセリング制度

留学に関するあらゆる質問に専門の留学カウンセラーがお答えします。特に、一般留学や休学留学など、自身で一から情報収集する必要のある留学制度を利用する学生にお薦めしています。

予約・問合せは以下のメールアドレス・QRコードまたはグローバル教育センターまで。

goabroad-ofc@sophia.ac.jp



〈カウンセリング時間枠〉月～金

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| ① 10:30 - 11:00 (30分) | ④ 14:30 - 15:00 (30分) |
| ② 12:40 - 13:20 (40分) * グループ相談可 | ⑤ 15:25 - 15:55 (30分) |
| ③ 13:45 - 14:15 (30分) | ⑥ 16:05 - 16:35 (30分) |

※予約優先ですが、空きがあれば随時対応します。

※上記時間枠は2019年3月時点のもので変更となる場合があります。

最新の情報は、グローバル教育センター窓口またはホームページで確認してください。

(4) キャリアセンター

キャリアセンターでは、進路に関する様々な相談を受け付けています。例年約3,000人の学生が個別相談を利用しており、また簡単な質問であれば窓口で対応しています。留学と就職の関連など、気になることがあれば気軽にキャリアセンターを訪ねてください。

キャリアセンター 開室時間： 月～金 10：00～17：00
(11：30～12：30は資料閲覧のみ)

また、留学を考えている学生、留学予定の学生、語学力や留学経験を生かしてグローバルに活躍したい学生を対象に、キャリアセンターでは様々なガイダンスやセミナーを実施しています。

国際派・留学経験者就職支援プログラム(2018年度例)

4月 留学検討者向け就活ガイダンス①

5月～6月 留学帰国者向けガイダンス

留学出発直前ガイダンス①、国連ウィーク(春)

7月 英語キャリアフェア(合同企業説明会)

10月 留学検討者向け就活ガイダンス②

ボストンキャリアフォーラム直前セミナー、国連ウィーク(秋)

11月～12月 留学出発直前ガイダンス②

【企業研究】語学力を活かした「ローカライズ業務」を知るセミナー

【企業研究】映像翻訳の世界を覗いてみよう！～字幕翻訳体験講座～

各種プログラムの案内は、Loyola>就職・キャリア支援メニュー>ガイダンス情報/申込、キャリアセンター掲示板を確認してください。

[学外での情報収集]

学外における情報収集の一例として、下記のサイトを見てみるのも良いでしょう。

	内容	リンク先
独立行政法人 日本学生支援機構(JASSO)	主要国全般および留学基本情報	http://ryugaku.jasso.go.jp/
文部科学省 トビタテ!留学JAPAN	留学に関わる奨学金、留学準備・体験談、留学後の就職についてなど	http://www.tobitate.mext.go.jp/
各国の大使館	各国の現地安全情報等	-
一般社団法人 留学サービス審査機構	第三者団体から認証を受けた留学サービス事業団体の確認が可能	http://www.jcross.or.jp/

D 上智大学での留学の種類

学部生

本学での名称	留学先	期間	諸手続き	*学費	単位の換算	留学中の身分(学籍上の扱い) / 4年間での卒業	人数(2018年度)	参照ページ
交換留学	本学と交換協定のある約290大学	1年または1学期	個人／グローバル教育センターの補助あり(選考あり)	上智大学にのみ納入	30単位まで認定可能	留学/可	279	P.30
交換留学(SAIMS)	本学指定のアジアの協定校	1学期					13	P.37
交換留学(英語集中コース)	本学指定の協定校	1学期					20	P.35
LAP	本学との提携校である中南米諸国6カ国13大学	1年または1学期					12	P.37
一般留学	学位授与権のある大学で、事前に学科長が許可した大学	1クォーター～2年	個人で行う	上智大学および留学先大学に納入(奨励費の支給有)	30単位まで認定可能	留学 / ～1年留学の場合可	32	P.21
海外短期語学講座	協定校等が主催する本学指定の講座	3週間～5週間(夏期・春期休暇中)	グローバル教育センター	実費要	語学科目の単位付与可能	在学のまま/可	342	P.22
海外短期研修	協定校等にて実施する本学指定の研修	1週間～6週間(夏期・春期休暇中)	グローバル教育センター(選考あり)		全学共通科目(選択科目)または学科科目として単位付与・認定可能		80	P.24
実践型プログラム	協定校等と実施する本学指定のプログラム	1週間～3週間(夏期・春期休暇中)	グローバル教育センター(選考あり)		全学共通科目(選択科目)の単位付与可能		141	P.26
インターンシップ科目(中期・長期)	本学と協定のある実習先	2～5ヶ月(春・秋学期中)	個人／グローバル教育センター	上智大学に納入	6単位(全学共通科目)		6	P.21
インターンシップ科目(短期)	本学と協定のある実習先	2～6週間(夏期・春期休暇中)	グローバル教育センター	無	2単位(全学共通科目)		87	P.28
国連ユースボランティア	開発途上国	約5ヶ月間(秋学期中)	グローバル教育センター	上智大学に納入	6単位(全学共通科目)		2	P.21
休学による海外勉学	個人が決定。ただし、学科長の指導要。		個人で行う	上智大学学費は減免措置あり	不可	休学/不可	201	P.21

* 本学学費の詳細については、本学公式HP掲載の学費案内参照。

URL : <https://www.sophia.ac.jp/jpn/studentlife/tuition/gakuhianai.html>

大学院生

本学での名称	留学先	期間	諸手続き	*学費	単位の換算	留学中の身分(学籍上の扱い)	参照ページ
交換留学	本学と交換協定のある約290大学	1年または1学期	個人／グローバル教育センターの補助あり(選考あり)	上智大学にのみ納入	10単位まで認定可能	留学	P.30
LAP	本学との提携校である中南米諸国6カ国13大学						P.37
一般留学	学位授与権のある大学で、事前に学科長が許可した大学	1クォーター～2年	個人で行う	上智大学および留学先大学に納入(奨励費の支給有)			P.21
海外短期研修	協定校等にて実施する本学指定の研修	1週間～6週間(夏期・春期休暇中)	グローバル教育センター(選考あり)	実費要	理工学専攻のみ可	在学のまま	P.24
実践型プログラム	協定校等と実施する本学指定のプログラム	1週間～3週間(夏期・春期休暇中)			国際関係論専攻のみ可		P.26
休学による海外勉学	個人が決定。ただし、学科長の指導要。		個人で行う	上智大学学費は減免措置あり	不可	休学	P.21

* 本学学費の詳細については、本学公式HP掲載の学費案内参照。

URL : <https://www.sophia.ac.jp/jpn/studentlife/tuition/gakuhianai.html>

* 上記の他、インターンシップ科目については、実習先により大学院生の参加が認められるプログラムがあります。大学院生で参加を希望する場合は、事前に相談すること。

(1) 長期留学

① 交換留学

対象：2年次以上（学内選考への応募は1年次の2学期目から可能な場合も有り）
第II部「交換留学」を参照ください。

② 一般留学 対象：2年次以上

学位授与権のある大学に、事前に所属学部長・学科長の許可を受けて留学するものです。留学先は自由に選べますが、留学手続きはすべて個人で行い、学費も本学と留学先大学の双方に納入する必要があります。協定校以外の大学については、各国留学情報提供機関を利用するとよいでしょう。学位授与権のある大学であっても、Extension Centerや大学を会場としているだけの公開講座などは対象となりません。また、語学学校等の専門学校は原則として一般留学の対象になりません。詳しくは所属学科長に確認してください。

③ 休学留学 対象：全年次

本学を休学して海外勉学するもので、留学先の制限はありません。休学期間の授業料は減額されますが、休学期間は修業年限に算入されないため、4年間で卒業することはできません。本学休学中に留学先で単位を取得しても、本学での単位認定はできません。

④ インターンシップ科目（中期・長期） 対象：2年次以上（実習先により異なる）

上智大学と協定を結んだ国際機関やグローバル企業等において2～5カ月インターンシップ（就業体験）をし、事前・事後の講義受講や課題提出を行うことで全学共通科目（選択科目）の単位が付与されます。学生は、グローバルビジネスや国際協力の現場に身を置くことで、その構造、意義、課題を認識し、当該分野への理解を深め、実践的な課題解決能力を身につけることができます。長期におよぶインターンシップの現場では、常に主体的、積極的に学ぶ姿勢が求められ、座学だけでは身につけることが難しい経験を通して、タフな人材として社会に巣立つことが期待されます。中期は2Qと夏期休暇期間中、長期は春・秋学期中にそれぞれ設定されています。

・対象科目：「グローバルインターンシップ(中期)」、「グローバルインターンシップ(長期)」

⑤ 国連ユースボランティア 対象：学部生で応募する年の9月時点で20歳以上の方 ※2019年度は休講（実施はありません）

国連ユースボランティアは、国連ボランティア計画（UNV）と日本の大学が連携して、学生を開発途上国へ職員として派遣するプログラムです。同プログラムのもとで派遣される学生は、1学期間（秋学期）、開発途上国のUNV事務所等に配属され、国連や政府機関、NGOスタッフ、そして現地の人々とともに開発支援活動に従事することによって、単位を修得することができます。

(2) 短期留学

短期留学は、夏期・春期休暇期間中に実施するもので、「海外短期語学講座」「海外短期研修」「実践型プログラム」「インターンシップ科目（短期）」の4カテゴリーに分かれます。

① 海外短期語学講座

本学の交換留学協定校等の付属語学学校が主催する語学講座に参加し、語学力向上を図るプログラムです。各プログラムは本学の開講科目として取り扱われ、事前指導に全て参加し、留学先で所定の成果を修めた者には、語学科目の該当言語科目2単位が付与されます。付与単位の評価は「P」となります。付与される単位が卒業要件に算入されるか否かについては履修要覧を確認ください。

夏期休暇中開講

■募集説明会：4月

■申込受付期間：

【英語圏】2019年4月17日（水）～19日（金）（予定）

【英語圏以外】2019年5月8日（水）～10日（金）（予定）

■コース一覧

※「概算費用」は2018年度費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。

大学名	国名	学習言語 (単位付与領域)	授業期間(2019年度予定) ／滞在形態	概算費用 (万円)	2018年度 参加者数(人)	付与 単位
カリフォルニア大学 デービス校	アメリカ	英語	8月9日～9月6日(4週間)	ホームステイ：69 寮：84	13	2
			ホームステイ/学生寮(選択)			
ノースカロライナ大学 シャーロット校	アメリカ	英語	8月24日～9月12日(3週間) ホテル	75	催行なし	2
ブリティッシュ・ コロンビア大学	カナダ	英語	8月6日～8月30日(3週間)	60	15	2
			ホームステイ			
マギル大学	カナダ	英語	8月5日～8月23日(3週間) 学生寮	67	20	2
マンチェスター大学	イギリス	英語	8月12日～9月6日(4週間) 学生寮	49	16	2
オークランド大学	ニュージーランド	英語	8月19日～9月13日(4週間) ホームステイ	50	11	2
フライブルク大学	ドイツ	ドイツ語	8月5日～8月28日(3.5週間) 学生寮	46	14	2
フランシュ・コンテ 大学	フランス	フランス語	8月5日～8月30日(4週間)	57	13	2
			ホームステイ			
コインブラ大学	ポルトガル	ポルトガル語	8月～9月予定(3週間)	37	7	2
			学生寮			
ペルージャ外国人大学	イタリア	イタリア語	8月6日～8月30日(5週間)	36	11	2
			学生寮			

大学名	国名	学習言語 (単位付与領域)	授業期間(2019年度予定) ／滞在形態	概算費用 (万円)	2018年度 参加者数(人)	付与 単位
香港中文大学*	中国	中国語(北京語)	8月5日～8月23日(3週間)	20	10	2
			学生寮			
韓国カトリック大学*	韓国	コリア語	8月5日～8月17日(2週間)	11	8	2
			学生寮もしくはホテル			
韓国外国語大学*	韓国	コリア語	8月5日～8月21日(2.5週間)	20	10	2
			学生寮もしくはホテル			

*マークのついたプログラムは、交換協定に基づき実施されるため授業料は免除。ただし、国際教養学部生が本プログラムによって単位の付与を希望する場合には、2単位分の授業料が発生します。

春期休暇中開講

■募集説明会：10月

■申込受付期間：

【英語圏】2019年10月16日(水)～18日(金)(予定)

【英語圏以外】2019年11月6日(水)～8日(金)(予定)

■コース一覧

※「概算費用」は2018年度費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。

大学名	国名	学習言語 (単位付与領域)	授業期間(2018年度実績) ／滞在形態	概算費用 (万円)	2018年度 参加者数(人)	付与 単位
カリフォルニア大学 デービス校	アメリカ	英語	2月8日～3月8日(4週間)	66	19	2
			ホームステイ			
ブリティッシュ・ コロンビア大学	カナダ	英語	2月25日～3月22日(4週間)	54	24	2
			ホームステイ			
マギル大学 (英語圏)	カナダ	英語	2月22日～3月22日(4週間)	55	20	2
			ホームステイ			
ウーロンゴン大学	オーストラリア	英語	2月25日～3月22日(4週間)	48	20	2
			ホームステイ			
クイーンズランド 大学	オーストラリア	英語	2月11日～3月15日(5週間)	55	20	2
			ホームステイ			
オークランド大学	ニュージーランド	英語	2月18日～3月15日(4週間)	53	17	2
			ホームステイ			
オクゴ大学	ニュージーランド	英語	2月25日～3月22日(4週間)	52	9	2
			ホームステイ			
アンジェ西 カトリック大学	フランス	フランス語	2月11日～3月8日(4週間)	53	20	2
			ホームステイ			
マギル大学 (フランス語圏)	カナダ	フランス語	2月25日～3月22日(4週間)	55	催行なし	2
			ホームステイ			
バルセロナ自治大学	スペイン	イスパニア語	2月11日～3月8日(4週間)	42	20	2
			ホームステイ			
北京大学	中国	中国語	2月25日～3月22日(4週間)	36	18	2
			学生寮			
韓国外国語大学*	韓国	コリア語	2月26日～3月26日(4週間)	24	10	2
			ホテル			

*マークのついたプログラムは、交換協定に基づき実施されるため授業料は免除。ただし、国際教養学部生が本プログラムによって単位の付与を希望する場合には、2単位分の授業料が発生します。

②海外短期研修

海外の名門大学で実施される短期プログラムにおいて、外国語で専門科目を学びます。各プログラムで必要とされる語学能力が定められています。

海外短期研修には、①修得した単位を単位換算手続きにより本学の修得単位として認定するもの(認定単位の評価は“N”)②本学の開講科目として取り扱い、プログラム修了者に単位が付与されるもの(付与単位の評価は“P”)の2種類があります。認定・付与単位数はプログラムにより異なります。

夏期休暇中開講

■募集説明会：4月

■申込受付期間：

【カリフォルニア大学ロサンゼルス校／デービス校(理工系)】2019年4月17日(水)～19日(金)(予定)

【オックスフォード大学・ロンドン大学】2019年5月8日(水)～10日(金)(予定)

※教皇立ハベリアナ大学については、Loyola掲示板を参照ください。

※トリアー大学については、ドイツ語学科事務室に問い合わせください。

■コース一覧

※「概算費用」は2018年度費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。

大学名	国名	学習言語 (単位付与領域)	授業期間(2019年度予定) ／滞在形態	概算費用 (万円)	2018年度 参加者数(人)	付与 単位
カリフォルニア大学 ロサンゼルス校	アメリカ	英語	8月5日～9月13日(6週間)	105～	5	注)
			学生寮			
UCLA Summer Session (Section C) -UCLA 正規生も受講するサマーセッション。 注) 帰国後の認定単位数は履修科目により異なる。						
カリフォルニア大学 デービス校	アメリカ	英語	8月9日～9月6日(4週間)	ホームステイ/ 学生寮(選択)	2	2
			ホームステイ/ 学生寮(選択)			
理工系学生のためのプログラム。理工系分野の講義、研究室・企業訪問あり。理工共通I群。自由科目。						
ロンドン大学SOAS	イギリス	英語	[Block 3] 8月19日～9月6日(3週間)	63	12	4
			ホームステイ			
メディア入門/国際関係論/グローバル・ビジネス/環境と開発などのコースの中から希望するものを一つずつ選択の上受講する。						
オックスフォード大学	イギリス	英語	8月24日～9月7日(2週間)	66	16	2
			学生寮			
英国政治・メディアについて集中的に学ぶプログラム。英国文化・シェイクスピアに関する講義もあり。						
教皇立ハベリアナ 大学 ※LAPプログラム (P.39を参照)	コロンビア	イスパニア語	8月8日～9月3日(4週間)(予定)	37	7	2
			ホームステイ			
イスパニア語既習者を対象とし、より高度なイスパニア語運用能力の習得を目的とする。渡航費一部補助あり。						
トリアー大学	ドイツ	ドイツ語	8月5日～8月30日(4週間)	35	2	2
			学生寮			
ドイツ語学科3・4年次生対象とし、ドイツ語の読解、聴解、会話、記述能力の向上を目的とする。 (問い合わせ先：ドイツ語学科事務室)						

大学名	国名	学習言語 (単位付与領域)	授業期間(2019年度予定) ／滞在形態	概算費用 (万円)	2018年度 参加者数(人)	付与 単位
ワルシャワ工科大学	ポーランド	英語	9月上旬(10日間程度)	25	催行なし	—
			学生寮			
理工学研究科の修士課程1・2年次生を対象とし、航空機工学を受講するプログラム。 (問い合わせ先:理工学研究科機械工学領域事務室)						

*「カリフォルニア大学ロサンゼルス校」については、研修で修得した単位が帰国後単位換算手続きをすることにより本学での修得単位として認定されます。その他のプログラムについては、本学の開講科目として取り扱われ、修了者には単位が付与されます。(単位換算手続きは不要。)ただし、国際教養学部生が単位付与を希望した場合、もしくは単位認定した場合、単位認定分の授業料が発生します。

春期休暇中開講

■募集説明会: 10月

■申込受付期間:

【ノースカロライナ大学シャーロット校・西オーストラリア大学】2019年10月16日(水)～18日(金)(予定)

【バリ政治学院・ESSCA】2019年11月6日(水)～8日(金)(予定)

■コース一覧

*「概算費用」は2018年度費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。

大学名	国名	使用言語	授業期間(2018年度実績) ／滞在形態	概算費用 (万円)	2018年度 参加者数(人)	付与 単位
ノースカロライナ大学 シャーロット校	アメリカ	英語	2月21日～3月12日(3週間)	65	7	2
			ホテル			
理工系学生のためのプログラム。理工系分野の講義、研究室・企業訪問あり。理工共通I群。自由科目。						
西オーストラリア大学	オーストラリア	英語	2月4日～2月22日(3週間)	ホームステイ/ 寮: 49	18	4
			ホームステイ/ 学生寮(選択)			
法学の要素を含む英語学習・法学の講義とともに、司法機関等の見学を行い、法律知識の向上を図るプログラム。						
バリ政治学院	フランス	英語	2月11日～3月8日(4週間)	75	3	4
			アパートメントホテル			
EUの政治・社会・経済に関する講座。講義内容に関連したレポートを作成。フランス語講座も受講可。						
ESSCA	ハンガリー	英語	2月4日～3月14日(6週間)	31	10	注)
			アパートメントホテル			
欧州ビジネスを中心に経済・文化等を学ぶ講座。ビジネス英語講座あり。 注) 帰国後の認定単位数は履修科目によって異なる。						

*「ESSCA」については、研修で修得した単位が帰国後単位換算手続きをすることにより本学での修得単位として認定されます。その他のプログラムについては、本学の開講科目として取り扱われ、修了者には単位が付与されます。(単位換算手続きは不要。)また、交換協定に基づき実施されるため授業料は免除となります。ただし、国際教養学部生が単位付与を希望した場合、もしくは単位認定した場合は、単位認定分の授業料が発生します。

③実践型プログラム

海外においてフィールドワーク等を通じて実践的に学ぶプログラムです。

各プログラムは、本学の開講科目として取り扱われ、事前指導に全て参加し、現地研修において所定の成果を修めた者には、全学共通科目(選択科目)として単位が付与されます。付与単位の評価は「P」となります。

付与された単位が卒業要件に付与されるかどうかについては履修要覧を確認してください。

【夏期休暇中実施プログラム】

募集説明会: 4月、申込受付: 4月下旬～5月上旬(プログラムにより異なる)

【春期休暇中実施プログラム】

募集説明会: 10月、申込受付: 10月中旬～11月上旬(プログラムにより異なる)

各プログラムの参加条件、申込方法等詳細についてはLoyola掲示板を確認ください。

■コース一覧

*「概算費用」は2018年度費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。

プログラム名	実施期間	実施国	研修期間 (2019年度予定)	概算費用 (万円)	2018年度 参加者数(人)	付与 単位
イエズス会・東アジア 5大学グローバルリーダー シップ・プログラム	夏期休暇中	フィリピン (2019年度)	8月11日～17日(7日間)	1	6	2
	イエズス会5大学(本学、西江大学(韓国)、輔仁大学(台湾)、アテネオ・デ・マニラ大学(フィリピン)、サナタ・ダルマ大学(インドネシア))から学生が集い、テーマについて学内での事前・事後研修、合宿形式の討論、講演の聴講、フィールドワーク等を通じ、国際理解とは何かについて学ぶプログラム。 *2019年度はアテネオ・デ・マニラ大学(フィリピン)にて実施予定。					
AJCU-AP サービスマーケティング・ プログラム *AJCU-AP= Association of Jesuit Colleges and Universities-Asia Pacific	夏期休暇中	フィリピン (2019年度)	8月4日～21日(18日間)	10	9	4
イエズス会の教育精神「Men and Women for Others, with Others」に基づいた人間的な成長を目指し、環境保全、異文化理解、地域振興をテーマに、現代に生きる若者としてどのような社会貢献ができるかを、韓国・フィリピン・インドネシアの学生と共に学ぶことを目的とする。 *2019年度はアテネオ・デ・ダバオ大学(フィリピン)にて実施予定。						
アフリカに学ぶ	夏期休暇中	カメルーン	8～9月(2週間)	45	14	2
	春期休暇中	未定	2～3月(2週間)	57	9	2
アフリカ地域の歴史と現在(政治・経済・文化・日常生活)について、現地での講義と実習を中心に学ぶプログラム。現地大学その他、現地企業、産業育成・農業関連施設、芸術・エコツーリズムなどのセンター、日本大使館、JICA事務所、国連関連施設などへの訪問を予定。						
北部タイ・サービスマー ケティング・プログラム	夏期休暇中	タイ	9月(9日間)	20	今年度 新規開講	2
	多くの社会的課題を抱える北部タイにおいて、イエズス会が設置した高等教育機関「ザビエル学習コミュニティ」と地域支援機関「暁の家」に滞在し、少数民族の村での対話やホームステイ、小学校での英語教育支援、コーヒー農園での収穫作業体験等の講座・実習・交流を三本柱とした学びのプログラムである。北部タイの課題と民族や宗教の多様性について、同世代の学生と共に学び合い、「他者のために、他者とともに」生きる意味を実験する。					
メコン経済回廊スタディ ツアー: 肌で感じる ASEAN 共同体	夏期休暇中	ベトナム・ラオス・ タイ	8月～9月(10日間)	25	—	2
	春期休暇中	ベトナム・カンボ ジア・タイ	2月～3月(10日間)	25	20	2
メコン地域内を繋ぐ「メコン経済回廊」のうち、東西経済回廊(夏期)あるいは南部・東部経済回廊(春期)を巡って移動し、経済特区・工業団地やインフラ視察、国際機関訪問、ホイ・アン(ベトナム)やアンコール・ワット(カンボジア)等の文化遺産訪問、国境地帯の人や物の移動の観察、大学での学生交流等を通じて同地域の経済社会発展のダイナミズムを体験的に学ぶプログラム。						

プログラム名	実施期間	実施国	研修期間 (2019年度予定)	概算費用 (万円)	2018年度 参加者数(人)	付与 単位
インドの社会経済・人間開発に学ぶ：南インドのケララ州を実例に	夏期休暇中	インド	8月下旬～9月上旬 (2週間)	26	実施なし	2
	南インドのケララ州の経済開発、労働問題、人間開発などの特徴や課題について、現地の状況に直接触れながら学ぶプログラム。					
マイクロネシア・エクスポージャーツアー	夏期休暇中	マイクロネシア	9月上旬(1週間)	25	12	2
	マイクロネシアにて、現地の人々との交流やユネスコ文化遺産でもあるナンマトル遺跡の見学等を通じて、文化・社会・環境について学ぶプログラム。					
エストニア・スタディーツアー：持続可能な社会構築に向けた教育の可能性	夏期休暇中	エストニア	9月上旬(1週間)	25	10	2
	エストニアの教育省、大学、高校、NGOなどの活動を見学し、現地の学生とディスカッションを行うことで、エストニアの教育におけるICT導入や英語教育などの革新的取り組みと工夫を学び、持続可能な社会構築への示唆を得ることを目的とする。					
国際公務員をめざして (実務型国連集中研修) 【学部3・4年生対象】	夏期休暇中	アメリカ	8月中旬(1週間)	35	1	2
	ニューヨーク国連本部にて、国際公務員制度や採用プロセスの説明に加え、履歴書の書き方やコンピテンシー面接などの実践的演習を行う。					
ジュネーブ国際機関集中研修	夏期休暇中	スイス	9月上旬(5日間)	25	今年度 新規開講	2
	国際機関本部が集中しているスイス・ジュネーブに滞在し、関係機関の職員から直接受ける講義や質疑応答を通して各国際機関の役割や活動を学ぶとともに、世界が直面する様々な課題について理解を深める。※大学院生も参加可。					
インド・サービスラーニング・プログラム	春期休暇中	インド	2～3月(3週間)	40～45	10	4
	インドのデリー・アグラ・バラナシ・コルカタに滞在し、インドの歴史や文化、宗教を学ぶとともに、マザーテレサが設立した「神の愛の宣教会」諸施設にてボランティア活動を行う国際サービスラーニング・プログラム。					
ペルー・スタディーツアー 「往還する南米日系人」	春期休暇中	ペルー	2月下旬～3月上旬 (約17日間)	40	8	2
	「大学の世界展開力強化事業(中南米)」を構成するプログラムの一つ。秦野市日系コミュニティでの学習支援活動について学び、実際にペルーに赴き、日系人ゆかりの地を訪問する。中南米やペルーの社会や文化を学ぶと共に、現地日系人コミュニティへの訪問等を通じて、文化背景を異にする人々が共に生きるために必要な多様な視野の獲得と、国際理解の促進を目指す。					
国連の役割と機能 (国連集中研修)	春期休暇中	アメリカ	2月中旬(5日間)	25	34	2
	ニューヨーク国連本部へ行き、現職国連本部職員から直に講義を受けたりディスカッションを行い、国連の役割と機能について理解を深める1週間の集中プログラム。国際社会が直面する課題を学び、将来国際社会で活躍できる人材を養成する機会を提供することを目的とする。 ※大学院生も参加可。					
ワシントンDC・国際政治の現場を学ぶ	春期休暇中	アメリカ	3月中旬(1週間)	35～40	実施なし	2
	国際政治の中心地、アメリカ合衆国の首都ワシントンD.C.に滞在し、政策シンクタンク、ジョージタウン大学などを訪問し、国際政治が実際にどのような人物、組織、政策によって動いているのかについて学ぶ。					
バンコク国際機関実地研修	春期休暇中	タイ・ラオス	2月～3月(9日間)	35	今年度新規開講	2
	多くの国際機関(国連機関と開発銀行)が集中するバンコクにて、それらのアジア太平洋地域統括本部を訪問し、国際機関の活動について現職職員から講義を受け、アジア太平洋地域が直面する「持続可能な開発目標(SDGs)」に関わる様々な課題について理解を深める。加えて、世界銀行やアジア開発銀行、国連等が実施するプロジェクト・サイトにてフィールド研修を行う。これらを通じ、国際協力分野における将来的なキャリア形成に役立てる。					

*実践型プログラムに国際教養学部生が参加し、単位付与を希望する場合には、単位数分の授業料が発生します。

④ インターンシップ科目(短期)

*インターンシップ科目に国際教養学部生が参加し、単位付与を希望する場合は、単位数分の授業料が発生します。

対象：2年次以上(科目・実習先の条件によって更なる学年制限がある場合も有り)
上智大学と協定を結んだ実習先(グローバル企業、国際機関・協力団体、報道機関など)でインターンシップ(就業体験)をし、事前・事後の講義受講や課題提出を行うことで全学共通科目(選択科目)の単位が付与されます。就業・実務体験を通じて、大学で学んだ専門知識や技能をグローバル社会の中でどのように活かすのか、あるいは自分が残りの大学生活で何を学ぶべきか、といった気付きを得るため、主体的に学ぶ姿勢が求められます。インターンシップは夏期・春期休暇期間中に2～6週間設定されています。

- ・対象科目：「経済同友会連携インターンシップ」(2年次生限定)
「グローバルインターンシップ(短期)」(2年次生以上)
「ボルボ・グループインターンシップ」(2年次生以上)



第Ⅱ部 | 交換留学

part 2 . Sophia Exchange Program



本学と交換留学協定を結んでいる海外の大学との間で、学生を相互に派遣、受入する制度です。英語集中コース、ACUCA 枠、3キャンパス枠交換留学もこれに準じます。上智大学交換留学生として留学する場合、留学期間中の学費は本学にのみ納入し、留学先大学での授業料は免除されます。(ただし、個人で語学講座等に参加する場合の費用は自己負担。また、語学力不足により語学講座履修を義務づけられた場合、費用負担が発生することがあります。)

1 交換留学出願手続等

Students of English-based Undergraduate/Graduate Programs should refer to P.76 General Information on Study Abroad.

A 募集時期

交換留学生の募集は年2回、ほぼ留学先大学の地域毎に行われます。具体的な募集時期や出願要領については、その都度 Loyola 掲示板で通知します。通常、留学開始時期の約10カ月前に学内選考があります。下記の募集、選考時期は目安であり、変更することがあります。また、すべての協定校が毎年募集を行うわけではありません。

	地域	募集案内	願書受付	学内選考結果	留学期間(目安)
春募集	ドイツ語圏・ロシア語圏・オセアニア・韓国・南米・南アフリカ	4月中旬	6月上旬	7月中旬	翌年2~3月から約4カ月または10カ月
秋募集	北米・ヨーロッパ(ドイツ語圏除く)・中南米・アジア(韓国除く)・ロシア語圏(一部)	7月下旬	10月上旬	12月中旬	翌年8~9月から約4カ月または10カ月

B 出願及び留学資格

	要件	備考
1	出願するまでに32単位以上を修得しておくこと。	出願は1年次でもよいが、留学は2年次より可能。 その場合は留学に出発する前の学期までに32単位以上を修得しておくこと。
2	全科目のGPAが2.8以上であること。 (*注1)	総合平均点GPA (Grade Point Average) の計算方法： GPAとは各評価に与えられている評価点に各授業科目の単位数を乗じて得た積の合計を登録科目の総単位数で除して算出します。(4点満点) 【GPAの計算式】 $4.0 \times A$ の修得単位数 + $3.0 \times B$ の修得単位数 + $2.0 \times C$ の修得単位数 + $1.0 \times D$ の修得単位数 履修登録科目の総単位数 (W,N,P,Xとして表示された科目を除く)
3	必要な外国語の要件を満たしていること。	英語圏出願者は、TOEFL iBT®のスコア提出が必須*。 その他、本学 Loyola グウンロードセンター内「交換留学協定校語学要件一覧」参照。 *さらにUK出願者はIELTSのスコア提出が必須
4	学科長の承諾があること。	
5	心身ともに健康であること。(*注2)	毎年4月に本学で行われる定期健康診断(内科診察も含む)の受診が必要。 9月入学者も必ず4月に受診すること。
6	経済的保証及び保証人の承諾があること。(*注3)	留学に必要な費用について、家族とよく相談し、経済的な保証を得てから出願すること。

重要

*注1：交換留学学内選考合格者は、留学予定大学へ上智大学から推薦され、その後先方大学の審査により入学許可が出て初めて交換留学が可能となります。

(最終的な留学可否は例年、出発の2、3カ月前に判明)

学内選考に合格しても、留学先大学の審査で入学不許可になり、交換留学ができない可能性もあります。(特にGPA3.0未満の場合、入学不許可となる場合があります)

*注2：学内選考合格者のうち健康面で経過観察が必要な場合は「条件付合格」とし、留学出発前までの間に適宜、医師の診察を受ける必要があります。最終的な留学の可否は出発の概ね5カ月前までに、医師の所見を参考に学長が決定します。

*注3：合格後、正当な理由なく辞退することは認められません。

C その他出願の留意点

(1) 学部生の留学可能年次について

協定校ごとに、留学可能年次が定められています。3年次生以上が留学可能な大学には、1年次生は出願できません。2年次生以上が留学可能な大学には1年次生も出願できますが、本学入学後少なくとも1学期以上在籍し、本学の成績証明書を出願期間内に提出することが必要となります。

(2) 大学院生の出願について

協定校によっては大学院生の受入を行わない大学や、大学院生を学部生扱いでしか受け入れないところもあります。個別のケースについてグローバル教育センターから協定校に事前に問い合わせる必要があるため、希望者は学内願書受付期間の遅くとも1カ月前までに、①留学希望大学名、②受入希望研究科・専攻、③履修希望科目などを具体的に調べた上で、グローバル教育センターまで問い合わせてください。

なお、協定校からの回答により出願が可能となった場合でも、学内選考合格後先方大学の審査で受入不可となるか、学部レベルでの受入を提案されることもあります。

(3) 留学期間と回数

留学期間は1年間(約10~12カ月)もしくは1学期(約4カ月)となります。出願・配置大学決定後の交換留学の延長・短縮はできません。交換留学から継続して留学する場合は、学事センターで「一般留学」か「休学」の手続きをしてください。1学期留学は一部の大学で可能です。学部在学中の交換留学(英語集中コースを含む)は原則として1人1回です。

ただし、下記の交換留学プログラムを組み合わせる場合は、例外として2回の交換留学が認められますが、修業年限に算入する期間は1年間を上限とします。

- ・LAP + 交換留学
- ・SAIMSプログラム + 交換留学
- ・SAIMSプログラム + LAP

D 出願に必要な書類

- (1) 交換留学願書 (本学所定用紙)
- (2) 希望大学記入シート (本学所定用紙)
- (3) 語学能力を証明する書類 ※英語圏はTOEFL iBT[®] スコア提出
- (4) 本人誓約書・保証人および学科長の承諾書 (本学所定用紙)
- (5) 最新の成績通知書
- (6) 最新の英文成績証明書
- (7) 本学保健センター発行の健康診断証明書

* 出願要領や必要書類については、募集時にLoyola掲示板・ダウンロードセンターでお知らせします。

E 選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 面接
本学教員による面接を行います。
- (3) 選考判定
語学能力 (英語圏はTOEFL iBT[®] スコア)、学業成績 (GPA)、面接点をもとに、総合点を算出します。この「総合点」の高い順に志望先大学へ割り振ります。

F 交換留学学内選考試験合格後の手続き

合格大学への推薦

学内選考試験に合格した者は、「交換留学候補者」として留学先大学へ推薦されます。その後、留学先大学で必要な出願書類を準備・送付し、先方での受入審査があります。下記の条件がすべて満たされた場合に、正式に留学が決定されます。

- ① 留学先大学から正式に入学許可がおりること。
- ② 学内選考試験合格後も全科目のGPA2.8以上を保つこと。
- ③ 心身ともに健康であること。(定期健康診断(内科検診を含む)に問題がないこと。)
- ④ 上智大学指定の海外留学保険および危機管理サービスに加入すること。

留学前に本学へ提出する書類

「留学願」、誓約書、留学先大学での入学審査のための必要書類等については、グローバル教育センターから通知します。

宿舎申込について

通常留学先大学を通して紹介または斡旋がありますが、地域により住宅事情が異なるので、場合によっては自分で住居を探す必要があります(ブラジル、ヨーロッパの一部等)。

留学先大学への主な提出書類 (大学により異なります)

- ・ 留学先大学所定願書、英文推薦状、英文成績証明書
- ・ 本人または保証人の英文預貯金残高証明書
- ・ 英文の健康診断書 (予防接種の記録を含む) (主にアメリカ)
- ・ Official TOEFL[®] Score (一部の大学では、学内選考合格後、ETSを通して、直接送付することが必要となります。スコアの有効期限に充分余裕のあるものが望ましい。)
- ・ 大学院生の場合、GRE (General Test, Subject Test) またはGMATのスコアを要求されることがあります。また、学部生より高い語学資格のスコアを要求されることがあります。

帰国後の提出物

交換留学生は、帰国後1カ月以内に「交換留学帰国レポート」を提出することが義務づけられています。

G 交換留学時に見込まれる費用

- (1) 留学先大学に授業料を納入する必要はありません。
- (2) 留学先大学指定の保険や、授業料以外の諸経費は個人負担が必要となる場合があります。
- (3) 旅費や現地での生活費は本人負担となります。1年間留学する場合、必要経費として120~200万円程が見込まれます。この金額は、通貨の換算レート、現地での生活の仕方、休暇の過ごし方によっても大きく変わってきます。
- (4) 本学学費は通常の請求にしたがって納入ください。
- (5) 日本出発から帰国日までの上智大学指定の海外留学保険と、危機管理サービスへの加入(約15万円)が必要となります。
- (6) 個人の希望で、学期開始前に留学先大学で開講される語学講座等に参加する場合、費用は個人負担となります。
- (7) 語学力不足により学期前あるいは学期中の語学講座参加を義務付けられた場合にも、費用負担が生じることがあります。

2 目的に合わせた交換留学プログラム

A 英語集中コース

交換留学協定校で行われている語学プログラムに参加し、英語を集中的に学びます。留学期間は秋学期の1学期間のみとなります。学費を本学に納入することにより留学先大学での授業料は免除されますが、渡航費・滞在費等は参加者の負担です。なお、単位付与を希望する場合は、学内選考合格後、語学科目「交換留学海外英語集中講座」の履修登録が必要です。

【対象校】

- ①カンザス大学 (The University of Kansas) / アメリカ
プログラム名: Applied English Center Program (AEC)
授業期間: 8月中旬～12月中旬
- ②クレイトン大学 (Creighton University) / アメリカ
プログラム名: Intensive English Language Institute (IELI)
授業期間: 8月中旬～12月中旬
- ③ミシシッピ大学 (The University of Mississippi) / アメリカ
プログラム名: Intensive English Program (IEP)
※2018年度の募集はありませんでした。
- ④セント・メアリーズ大学 (St. Mary's University, Texas) / アメリカ
プログラム名: Intensive English Program (IEP)
授業期間: 8月中旬～11月下旬
- ⑤ディーキン大学 (Deakin University) / オーストラリア
プログラム名: Deakin University English Language Institute (DUELI)
授業期間: 8月下旬～翌年2月中旬 (12月に休暇期間あり)

【プログラム参加にあたって】

対象者: 本学学部正規生 (留学時も学部正規生であること)

- 出願資格: ①留学する前年度までに32単位以上を修得済みであること
②全科目のGPAが2.8以上であること
③学科長の承諾があること
④心身ともに健康であること
⑤経済的保証及び保証人の承諾があること

出願書類: Loyolaダウンロードセンターにて確認すること (※1)

選考方法: 書類審査、面接

判定: GPA、面接点をもとに総合点を算出。総合点の高い順に志望大学へ割り振ります。

出願期間: 10月1日・2日 (予定)

詳細はLoyola掲示板・ダウンロードセンターにて確認すること

【単位付与について】

単位は語学選択科目 (6単位分、成績評価は「P」) として認定されます。付与される単位が卒業要件に算入されるか否かについては履修要覧を確認ください。また、単位が付与されるためには以下の全ての条件を満たすことが必要となります。

1. 語学科目「交換留学海外英語集中講座」の履修登録を行うこと
2. 事前指導に出席すること
3. 現地での語学プログラム (135時間以上) に参加し、所定の成果を修めること
4. 帰国後に指定の英語検定試験 (※2) を受験すること
5. 交換留学に参加するうえでの各条件を満たすこと

※1: 出願時には、1年次に受験したAC-TEAPのスコアをLoyolaの外国語検定試験画面から印刷し、提出すること。未受験の場合はTEAP (4技能)、TOEIC (4技能)、TOEFL iBTのいずれかのスコアコピーの提出が必要です。(ただし、点数は選考には影響しません。)

※2: TOEIC (4技能)、TOEFL iBT、TEAP (4技能) のいずれかを各自受験し、スコアコピーを提出すること。

B Sophia AIMS (SAIMS) プログラム

ASEAN 政府主導の国際的な留学制度である AIMS Program による東南アジアの協定校への1学期の交換留学です。留学先では、言語・文化、国際ビジネス、経済学、食料科学技術など各大学が提供する様々な分野を学ぶ機会があります。

留学期間：1学期 / 対象者：学部生 / 使用言語：英語
 授業料：交換留学と同様に、留学中は上智大学のみ納入(留学先の学費は免除)
 募集時期および出願条件：通常の交換留学に準ずる

留学先

所在国	大学名	留学開始時期	所在地	留学可能年次
Indonesia	Bogor Agricultural University	春・秋	Bogor	2年次以上
Indonesia	Gadjah Mada University	秋	Yogyakarta	
Thailand	Chulalongkorn University	秋	Bangkok	
Thailand	Mahidol University	春・秋	Nakhon Pathom	
Philippines	Ateneo de Manila University	秋	Manila	
Philippines	De La Salle University	春・秋	Manila	
Malaysia	Universiti Kebangsaan Malaysia (The National University of Malaysia)	秋	Bangi, Selangor (Kuala Lumpur 郊外)	

C Sophia-Nanzan Latin America Program (LAP)

文部科学省の平成27年度「大学の世界展開力強化事業」に上智大学が南山大学及び上智大学短期大学部と連携して申請した構想が採択されたことにより、上智大学の学生は、このプログラムを通じて、提携大学である中南米諸国6カ国13大学のいずれかで、1学期または1年間の長期留学(交換留学)や、渡航費用の一部補助を受けながら短期留学プログラムに参加することができます。文部科学省による費用補助は2019年度で終了となります。

■LAPのメリット

- ・中南米各国を代表する有名大学で学べます(英語での履修も可能)
- ・留学先での取得単位を上智大学の単位に換算することができます
- ・留学前の準備と現地滞在中の生活をLAPコーディネーターが支援します
- ・短期留学は旅行代金の一部が補助されます(2019年度)
- ・上智大学で学ぶ中南米諸国からの留学生と交流する様々な機会があります

■長期留学

留学期間：1学期または1年間
 対象者：学部生、大学院生
 留学先：ブラジル、メキシコ、ペルー、チリ、コロンビア、アルゼンチンの協定大学計13大学

所在国	大学名	所在国	大学名
アルゼンチン	Universidad Católica de Córdoba	コロンビア	Pontificia Universidad Javeriana
	Universidad del Salvador		Universidad de los Andes
ブラジル	Universidade de Brasilia	ペルー	Pontificia Universidad Católica del Perú
	Pontificia Universidade Católica de São Paulo		Universidad Iberoamericana Ciudad de México
	Universidade Estadual de Campinas		Universidad de Guanajuato
チリ	Pontificia Universidad Católica de Chile	メキシコ	Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Occidente
			Instituto Tecnológico Autónomo de México

使用言語：現地語(スペイン語またはポルトガル語)または英語
 授業料：交換留学と同様に、留学中は上智大学のみ納入(留学先の学費は免除)
 経費の援助：2019年度中出発プログラムに限る(詳細はお問い合わせください)
 単 位：最大30単位まで換算可能
 出 願 条 件：GPA2.8以上、留学先大学が求める語学力を有していること(学内選考があります)。その他、交換留学の出願条件に準じます。
 申 込 期 間：春学期派遣は6月頃、秋学期派遣は10月頃を予定。プログラム説明会・募集については、Loyola掲示板にてお知らせします。

【必須履修科目】

LAPを通じて中南米諸国へ長期留学する学生は、このプログラムのために特別に設けられた次の2科目から最低1科目を、留学前もしくは留学後に履修することが必須となります。本科目には中南米諸国からLAPを通じて上智大学へ来る留学生も参加します。

※これらの科目は本学全学部生に開講されています。

- ①日本・ラテンアメリカ比較演習 (Japan and Latin America in Comparative Perspective)
 (春学期/秋学期2単位、スペイン語またはポルトガル語での開講)
 ※休講については履修要覧参照
 日本と中南米諸国を、文学、経済、教育などの視点から比較研究する。
- ②人の移動と共生 (Migration and Co-existence)
 (春学期/秋学期2単位、英語での開講) ※2019年度春学期は休講
 グローバル化社会における、人の移動に伴って高まる多様性と顕在化する社会的格差・文化摩擦等の課題について、多様な視点から学ぶ。

■短期留学

対象者：学部生

経費の援助：旅行代金の一部が補助されます

単 位：2単位付与

出願条件：明確な目的意識と目標を持って、勉学に励むことができる学生(学内選考があります)

プログラム概要：

①海外短期研修

教皇立ハベリアナ大学

高度なスペイン語運用能力の習得とコロンビア文化への理解を深め、多様な文化背景をもつ学生と交流し、多文化への理解と適応力を高めます。イスパニア語既習者対象。

出発時期・期間	使用言語	留学先(国)
8月出発・4週間	スペイン語	Pontificia Universidad Javeriana (コロンビア)

②実践型プログラム

ペルー・スタディツアー「往還する南米日系人」(スペイン語力不問)

ペルーの文化や歴史に関する講義を履修するとともに、博物館や史跡訪問等のフィールドワーク、さらには現地の日系人コミュニティや小学校での教育文化交流等を行います。

出発時期・期間	使用言語	留学先(国)
2月出発・2週間	英語	Pontificia Universidad Católica del Perú (ペルー)

■その他

LAPを通じて留学する学生は、留学後のフォローアップ研修を通じて、その体験や成果を振り返るとともに、大学や後輩たちに広く共有していくことが求められます。

D ACUCA 枠交換留学

上智大学はACUCA (Association of Christian Universities and Colleges in Asia) に加盟し、その活動の一環として行われる「Student Mobility Scheme (SMS)」を介して、交換留学生の派遣・受入を行っています。留学先の学費免除の他、ACUCA から渡航費および滞在費の補助がもらえる可能性があります。

対象者：本学学部正規生／使用言語：英語(一部除く)／留学期間：1学期間
募集時期および出願要件：通常の交換留学に準ずる。

E 3キャンパス枠交換留学(上智大学・西江大学・香港城市大学3キャンパス東アジア地域研究国際共同プログラム)

上智大学・西江大学(韓国)・香港城市大学(中国)の3つの大学で、それぞれの国に関する歴史、文学、経済、政治、国際関係、文化等に関する科目を英語で学び、東アジア地域に関する理解を深めるプログラムです。上智大学からの参加学生は、交換留学により、西江大学(School of Integrated Knowledge)と香港城市大学(College of Liberal Arts and Social Science)へそれぞれ1学期ずつ留学します。

対象者：本学学部正規生
使用言語：英語
留学期間：計1年
募集時期：年1回(10月上旬～)、春出発・秋出発同時募集
出願要件：通常の交換留学に準ずる。

3 交換留学協定校一覧

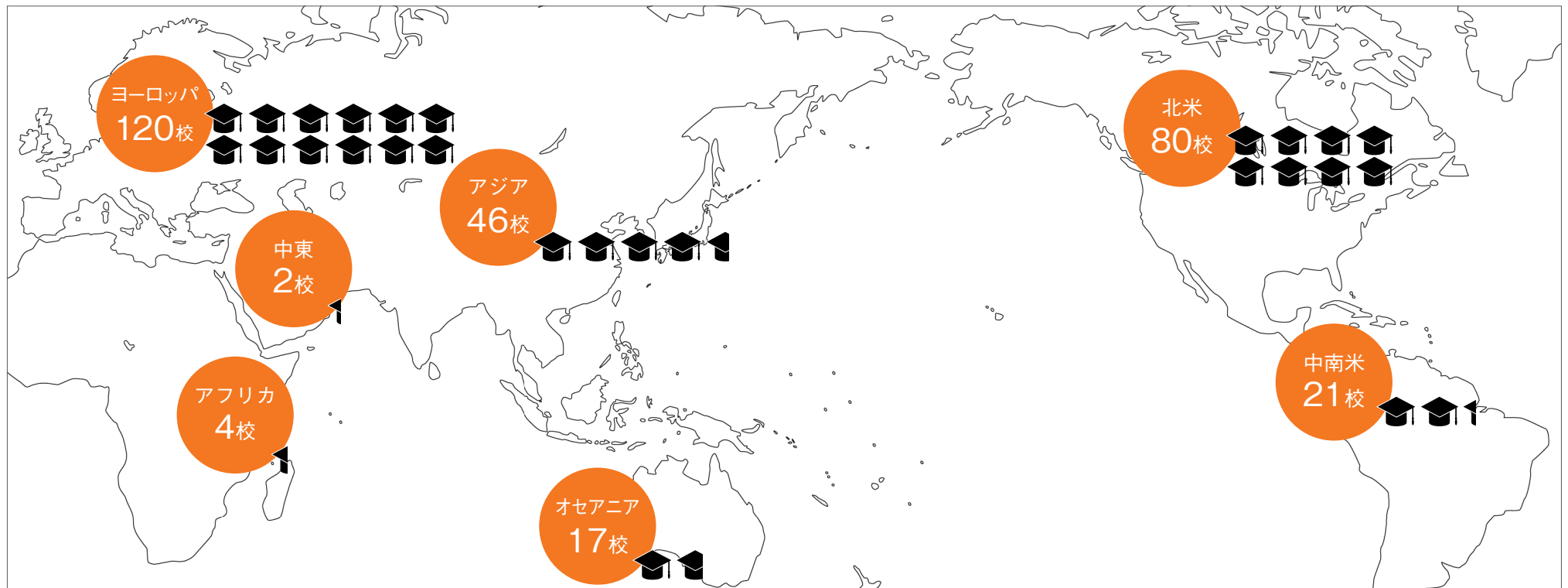
次ページから掲載されている一覧は学内選考の募集言語圏により分かれており、国順で記載されています。また、各言語圏で留学に必要なとされる語学能力について記載されています。学内選考出願時に必要な各大学ごとの語学要件は、Loyolaのダウンロードセンターを参照してください。

本学ホームページ「グローバル教育・留学」>「国際交流/留学」>「長期留学(交換留学・一般留学・休学留学)」のページから各協定校のホームページにアクセスすることができます。

https://www.sophia.ac.jp/jpn/global/international/exchange/exchange_partner/partner.html



2020年度出発交換留学の募集の有無は全ての大学で2019年4月1日現在未定です。また、掲載されている協定校は2019年3月1日現在の情報です。内容変更等については随時お知らせしますので、最新情報はLoyolaで必ず確認してください。



協定校数：2019年3月1日現在

1) 出発時期

出発時期(春学期出発または秋学期出発)別に示しています。

各出発時期別の願書配布から留学開始までの学内選考の大まかなスケジュールは、P.30のA. 募集時期の表を参照してください。

2) 留学可能年次

数字で表しています。

例：2=2年次以上 3=3年次以上 大学院生=大学院生以上

※春出発の対象大学は全て留学可能年次が3年次以上だが、秋入学の学生については、2年次の春出発(4学期目)も可能な場合がある。詳細はグローバル教育センターに問い合わせること。

3) 語学要件

各大学の出願要件についてはLoyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センターの「交換留学協定校語学要件」を参照してください。

協定校一覧

英語圏

語学要件：受験日から2年以内のTOEFL iBT® (P.70参照) の公式スコアの提出が必要。UKの協定校を希望する場合は、TOEFL iBT® と併せてIELTS™ (P.71参照) のスコアの提出が必須。受験後、スコアが手元に届くまでの時間も見込んで、早めに受験しておくこと。
 学内選考出願時に必要なスコアは希望する協定校により異なる。また、各セクションのスコア要件を求められる場合もある。語学要件を満たすスコアとして、TOEFL ITP® およびIELTS™ のスコアが一部の協定校で認められている。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。
 Loyola > ダウンロードセンター > グローバル教育センター > 「交換留学協定校語学要件」

春学期出発 (学内選考の募集：前年の6月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.42参照)
Australia	The University of Adelaide	Adelaide, South Australia	3
Australia	Australian Catholic University	6キャンパス有	
Australia	Griffith University	Nathan, Queensland	
Australia	La Trobe University	Melbourne, Victoria	
Australia	Macquarie University	North Ryde, New South Wales	
Australia	The University of Melbourne	Parkville, Victoria	
Australia	The University of Notre Dame	Freemantle, Sydney	
Australia	The University of Queensland	Brisbane, Queensland	
Australia	Royal Melbourne Institute of Technology (RMIT University)	Melbourne, Victoria	
Australia	The University of Sydney	Sydney, New South Wales	
Australia	University of Technology, Sydney	Ultimo, New South Wale	
Australia	The University of Western Australia	Perth, Western Australia	
Australia	Western Sydney University	Sydney	
Australia	University of Wollongong	Wollongong, New South Wales	
Fiji	The University of the South Pacific	Suva	
New Zealand	The University of Auckland	Auckland	
S.Korea	The Catholic University of Korea	Puchon	
S.Korea	Hankuk University of Foreign Studies	Seoul	
S.Korea	Pusan National University	Beon-gil, Busan	
S.Korea	Seoul National University	Seoul	
S.Korea	Sogang University	Seoul	
S.Korea	Sookmyung Women's University	Seoul	
S.Korea	Yonsei University	Seoul	
South Africa	University of Stellenbosch	Stellenbosch	
秋学期出発 (学内選考の募集：前年の10月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.42参照)
China	The University of Hong Kong	Hong Kong	2
China	City University of Hong Kong	Hong Kong	2
China	The Chinese University of Hong Kong	Shatin, Hong Kong	2

所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.42参照)
China	The Hong Kong University of Science and Technology	Kowloon, Hong Kong	2
China	University of Macau	Macau	2
China	Beijing Foreign Studies University	Haidian District, Beijing	2
China	China Foreign Affairs University	Beijing	2
China	Fudan University	Shanghai	2
China	Renmin University of China	Beijing	2
China	Tsinghua University	Beijing	2
China	Xiamen University	Xiamen	2
Taiwan	Fu Jen Catholic University	New Taipei City	2
Taiwan	National Chengchi University (NCCU)	Taipei	2
Taiwan	National Taiwan University	Taipei	2
Philippines	Ateneo de Manila University	Manila	2
Philippines	De La Salle University	Manila	2
Philippines	University of the Philippines	Quezon City	2
India	CHRIST (Deemed to be University)	Bangalore	2
Indonesia	Bogor Agricultural University	Bogor, West Java	2
Indonesia	Gadjah Mada University	Yogyakarta	2
Indonesia	Universitas Indonesia	Depok, West Java	2
Indonesia	Petra Christian University	Surabaya, East Java	2
Indonesia	Sanata Dharma University	Yogyakarta	2
Malaysia	University of Malaya	Kuala Lumpur	2
Malaysia	Universiti Teknologi Malaysia	Johor Bahru, Johor	2
Malaysia	Universiti Kebangsaan Malaysia	Bangi, Selangor	2
Singapore	Singapore Management University	Singapore	2
Singapore	Yale-NUS College	Singapore	2
Thailand	Chiang Mai University	Chiang Mai	2
Thailand	Chulalongkorn University	Bangkok	2
Thailand	Mahidol University	Nakhonpathom	2
Thailand	Thammasat University	Bangkok	2
Vietnam	Foreign Trade University	Hanoi	2
Belgium	Universiteit Antwerpen	Antwerpen	3
Croatia	Zagreb School of Economics and Management (ZSEM)	Zagreb	2
Czech	Anglo-American University	Prague	2
Denmark	Aarhus University	Aarhus	2
Finland	Aalto University School of Business	Helsinki/Mikkeli	2
Finland	Hanken School of Economics	Helsinki	3
France/ Hungary	Ecole Supérieure des Sciences Commerciales d' Angers	Angers/Budapest	3
France	ESSEC Business School	Cergy-Pontoise	3
France	Institut d'Etudes Politiques de Paris	Paris	3
France	Lille Catholic University	Lille	3
France	Université Paris-Dauphine	Paris	2

所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.42参照)
Hungary	University of Pécs	Pécs	2
Iceland	University of Iceland	Reykjavik	2
Ireland	Dublin City University	Dublin	2
Italy	Università di Cagliari	Cagliari	2
Italy	Università Carlo Cattaneo (LIUC)	Castellanza	2
Italy	Università Cattolica del Sacro Cuore	Milano	2
Italy	Università Ca' Foscari Venezia	Venezia	2
Lithuania	Vilnius University	Vilnius	2
Lithuania	Vytautas Magnus University	Kaunas	2
Luxembourg	Université du Luxembourg	Luxembourg	2
Netherlands	University of Amsterdam	Amsterdam	2
Netherlands	Leiden University	Leiden	2
Netherlands	Rotterdam Business School	Rotterdam	3
Norway	University of Oslo	Oslo	2
Poland	Warsaw University of Technology ※春学期出発もあり	Warsaw	理工学 研究科生
Slovenia	University of Ljubljana	Ljubljana	2
Spain	Universidad de Deusto	Bilbao	3
Spain	Universidad de Jaén	Jaén	3
Sweden	Uppsala University	Uppsala	2
Switzerland	The University of St. Gallen	St. Gallen	2
Switzerland	The Graduate Institute of International and Development Studies	Geneva	大学院生
Switzerland	Zurich University of Applied Sciences (ZHAW) ※春学期出発もあり	Winterthur	理工学 研究科生
Turkey	Istanbul Bilgi University	Istanbul	2
U.K.	The University of Birmingham	Birmingham, West Midlands	2
U.K.	University of East Anglia	Norwich, Norfolk	2
U.K.	The University of Edinburgh	Edinburgh, Scotland	2
U.K.	University of Hertfordshire	Hatfield, Hertfordshire	2
U.K.	University of Leeds	Leeds, West Yorkshire	2
U.K.	Newcastle University	Newcastle upon Tyne	2
U.K.	The University of Reading	Reading, Berkshire	2
U.K.	The University of Stirling	Stirling, Scotland	2
U.K.	The University of Sheffield	Sheffield, South Yorkshire	2
U.K.	St Mary's University, London	London	2
U.K.	School of Oriental and African Studies, Univ. of London	London	2
U.K.	York St John University	York	2
Canada	University of Alberta	Edmonton, Alberta	2
Canada	McGill University	Montreal, Quebec	2
Canada	The University of British Columbia	Vancouver, British Columbia	2
Canada	University of Victoria	Victoria, British Columbia	2

所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.42参照)
Canada	King's University College at the University of Western Ontario	London, Ontario	2
U.S.A.	University of Arizona	Tucson, Arizona	2
U.S.A.	Arizona State University	Tempe, Arizona	2
U.S.A.	Boston College	Chestnut Hill, Massachusetts	2
U.S.A.	Canisius College	Buffalo, New York	2
U.S.A.	Clemson University	Clemson, South Carolina	2
U.S.A.	University of Colorado at Boulder	Boulder, Colorado	2
U.S.A.	University of Connecticut	Storrs, Connecticut	2
U.S.A.	California State University, Fullerton	Fullerton, California	2
U.S.A.	The Catholic University of America	Washington, D.C.	2
U.S.A.	DeSales University	Center Valley, Pennsylvania	2
U.S.A.	Duquesne University	Pittsburgh, Pennsylvania	3
U.S.A.	Fairfield University	Fairfield, Connecticut	2
U.S.A.	George Mason University	Fairfax, Virginia	2
U.S.A.	Georgetown University	Washington, D.C.	2
U.S.A.	University of Georgia	Athens, Georgia	2
U.S.A.	Gonzaga University	Spokane, Washington	2
U.S.A.	Haverford College	Haverford, Pennsylvania	3
U.S.A.	University of Hawaii at Manoa	Honolulu, Hawaii	2
U.S.A.	College of the Holy Cross	Worcester, Massachusetts	3
U.S.A.	John Carroll University	Cleveland, Ohio	2
U.S.A.	Le Moyne College	Syracuse, New York	2
U.S.A.	Loyola University Chicago	Chicago, Illinois	2
U.S.A.	Loyola Marymount University	Los Angeles, California	3
U.S.A.	Loyola University New Orleans	New Orleans, Louisiana	2
U.S.A.	Marquette University	Milwaukee, Wisconsin	2
U.S.A.	University of Miami	Coral Gables, Florida	2
U.S.A.	University of Minnesota	Minneapolis, Minnesota	2
U.S.A.	University of Missouri-Columbia	Columbia, Missouri	2
U.S.A.	The University of Montana	Missoula, Montana	3
U.S.A.	The University of North Carolina at Chapel Hill	Chapel Hill, North Carolina	2
U.S.A.	University of North Carolina at Charlotte	Charlotte, North Carolina	2
U.S.A.	North Carolina State University	Raleigh, North Carolina	2
U.S.A.	University of North Florida	Jacksonville, Florida	2
U.S.A.	Northwest Missouri State University	Maryville, Missouri	2
U.S.A.	Occidental College	Los Angeles, California	2
U.S.A.	Pace University	New York City, New York	3
U.S.A.	University of Pennsylvania	Philadelphia, Pennsylvania	2
U.S.A.	University of Pittsburgh	Pittsburgh, Pennsylvania	2
U.S.A.	University of Portland	Portland, Oregon	2
U.S.A.	Saint Peter's University	Jersey City, New Jersey	2
U.S.A.	San Diego State University	San Diego, California	2
U.S.A.	University of San Francisco	San Francisco, California	2

所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.42参照)
U.S.A.	San José State University	San José, California	2
U.S.A.	Santa Clara University	Santa Clara, California	2
U.S.A.	The University of Scranton	Scranton, Pennsylvania	2
U.S.A.	Seattle University	Seattle, Washington	2
U.S.A.	Seton Hall University	South Orange, New Jersey	2
U.S.A.	St. John's University	Queens, New York	3
U.S.A.	Saint Joseph's University	Philadelphia, Pennsylvania	2
U.S.A.	Saint Mary's College of California	Moraga, California	2
U.S.A.	St. Norbert College	De Pere, Wisconsin	3
U.S.A.	University of St. Thomas	St. Paul, Minnesota	2
U.S.A.	Suffolk University	Boston, Massachusetts	2
U.S.A.	Tennessee Tech University	Cookeville, Tennessee	2
U.S.A.	The University of Texas at Austin	Austin, Texas	2
U.S.A.	The New School	New York City, New York	2
U.S.A.	University of Massachusetts-Amherst	Amherst, Massachusetts	2
U.S.A.	University of Massachusetts Boston	Boston, Massachusetts	2
U.S.A.	University of Virginia	Charlottesville, Virginia	3
U.S.A.	Washington and Jefferson College	Washington, Pennsylvania	3
U.S.A.	University of West Florida	Pensacola, Florida	3
U.S.A.	University of West Georgia	Carrollton, Georgia	2
U.S.A.	Winona State University	Winona, Minnesota	2
U.S.A.	University of Wisconsin-Madison	Madison, Wisconsin	2
U.S.A.	University of Wisconsin-Whitewater	Whitewater, Wisconsin	3
U.S.A.	Wittenberg University	Springfield, Ohio	2
U.S.A.	Xavier University	Cincinnati, Ohio	3
U.S.A.	Yale University	New Haven, Connecticut	大学院生
U.S.A.	York College of Pennsylvania	York, Pennsylvania	2

秋学期英語集中コース対象校 (学内選考の募集：前年の10月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.42参照)
Australia	Deakin University	Geelong, Victoria	2
U.S.A.	Creighton University	Omaha, Nebraska	2
U.S.A.	The University of Kansas	Lawrence, Kansas	2
U.S.A.	University of Mississippi	Oxford, Mississippi	2
U.S.A.	St. Mary's University, Texas	San Antonio, Texas	2

ドイツ語圏

留学に必要なとされる語学能力：

ドイツ語技能検定試験(独検)準1級(2007年度以前の独検2級)もしくはゲーティンステイトウートのドイツ語検定試験B1以上に合格しているか、それと同程度のドイツ語能力

出願に必要な書類：ドイツ文学科・ドイツ語学科の学生は証明書不要

上記以外の学科の学生は、次の①～③のいずれか1つを出願時に提出すること。

- ①ドイツ語技能検定試験(独検)準1級合格証明
- ②ゲーティンステイトウートのドイツ語検定試験B1以上の合格証明
- ③ドイツ語能力を示す本学常勤教員の推薦状

*協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

春学期出発のみ (学内選考の募集：前年の6月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.42参照)
Austria	Karl-Franzens-Universität Graz	Graz	3
Germany	Universität Bayreuth	Bayreuth	
Germany	Freie Universität Berlin	Berlin	
Germany	Technische Universität Berlin	Berlin	
Germany	Rheinische Friedrich-Wilhelms-Universität Bonn	Bonn	
Germany	Hochschule Bremen: University of Applied Sciences	Bremen	
Germany	Katholische Universität Eichstätt-Ingolstadt	Eichstätt	
Germany	Europa-Universität Viadrina Frankfurt (Oder)	Frankfurt (Oder)	
Germany	Albert-Ludwigs-Universität Freiburg	Freiburg	
Germany	Martin-Luther-Universität Halle-Wittenberg	Halle	
Germany	Ruprecht-Karls-Universität Heidelberg	Heidelberg	
Germany	Heinrich Heine Universität Düsseldorf	Düsseldorf	
Germany	Universität zu Köln	Köln	
Germany	Hochschule Ludwigshafen am Rhein	Ludwigshafen	
Germany	Hochschule für Philosophie München	München	
Germany	Technische Hochschule Nürnberg Georg Simon Ohm	Nürnberg	
Germany	Universität Paderborn	Paderborn	
Germany	Universität Rostock	Rostock	
Germany	Universität des Saarlandes	Saarbrücken	
Germany	Philosophisch-Theologische Hochschule Sankt Georgen	Frankfurt am Main	
Germany	Universität Trier	Trier	
Germany	Eberhard Karls Universität Tübingen	Tübingen	
Germany	Universität Witten/Herdecke	Witten	
Liechtenstein	Universität Liechtenstein	Vaduz	
Luxembourg	Université du Luxembourg	Luxembourg	
Switzerland	Universität St. Gallen	St. Gallen	

フランス語圏

留学に必要なとされる語学能力：
フランス文学科・フランス語学科の3年次程度のフランス語能力、もしくはフランス文部省認定資格試験の DELF B1以上、もしくはTCF B1以上に合格、または仏検2級取得程度

出願に必要な書類：フランス文学科・フランス語学科の学生は証明書不要
上記以外の学科の学生は、次の①～③のいずれか1つを出願時に提出すること。

- ①DELF B1以上またはTCF B1以上の合格証明書
- ②仏検2級合格証明書
- ③フランス語能力を示す本学常勤教員の推薦状

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

秋学期出発のみ(学内選考の募集：前年の10月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.42参照)
Belgium	Université Catholique de Louvain	Louvain-la-Neuve	2
Belgium	Université de Namur	Namur	2
Canada	Université Laval	Québec City	2
Canada	Université de Montréal	Montréal	2
France	Université d'Aix-Marseille	Aix-en-Provence	3
France	Université d'Angers	Angers	大学院生
France	Burgundy School of Business (旧 ESC Dijon)	Dijon	3
France	Université Catholique de l'Ouest, Angers	Angers	2
France	Université de Franche-Comté, Besançon	Besançon	2
France	Université Bordeaux Montaigne	Pessac	2
France	EAC Group Business School of Arts, Culture and Luxury	Paris	2
France	ESCEM	Tours	2
France	ESSEC Business School	Cergy-Pontoise	3
France	Institut Catholique de Paris (ICP)	Paris	2
France	Institut d'Etudes Politiques de Grenoble	Grenoble	2
France	Institut d'Etudes Politiques de Paris	Paris	3
France	Institut National des Langues et Civilisations Orientales (INALCO)	Paris	2
France	Université Catholique de Lille	Lille	2
France	Université de Lille	Lille	2
France	Université Catholique de Lyon	Lyon	2
France	Université Jean Moulin Lyon 3	Lyon	2
France	NEOMA Business School Rouen Campus	Mont-Saint-Aignan	2
France	Université Panthéon-Assas Paris II	Paris	3
France	Université Paris-Dauphine	Paris	2
France	Université Paris X - Nanterre	Nanterre	2
France	Université de Strasbourg	Strasbourg	2
France	Institut Catholique de Toulouse	Toulouse	2
Luxembourg	Université du Luxembourg	Luxembourg	2
Switzerland	Université de Genève	Genève	3

イスパニア語圏

留学に必要なとされる語学能力：イスパニア語学科2年次修了程度のイスパニア語能力

出願に必要な書類：
イスパニア語学科の学生は証明書不要だが、出発時までに「基礎イスパニア語IIA-2」および「基礎イスパニア語IIB-2」を修得しなければならない。決定後であっても、これを満たせない場合は決定を取り消す。
イスパニア語学科の学生のうち、DELE B1以上の合格証明書を提出した者は、上記2科目の履修登録前の出発であっても出願することができる。ただし、出発時までに履修した専攻外国語科目を修得できなかった場合は決定を取り消す。

イスパニア語学科以外の学生は、次の①②のいずれか1つを出願時に提出すること。

- ①DELE B1以上の合格証明書
- ②イスパニア語能力を示す本学常勤教員の推薦状

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

春学期出発(学内選考の募集：前年の6月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.42参照)
Argentina	Universidad Católica de Córdoba	Córdoba	3
Argentina	Universidad del Salvador	Buenos Aires	
Chile	Universidad Alberto Hurtado	Santiago	
Chile	Pontificia Universidad Católica de Chile	Santiago	
Peru	Pontificia Universidad Católica del Perú	Lima	
Uruguay	Universidad Católica del Uruguay	Montevideo	
秋学期出発(学内選考の募集：前年の10月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.42参照)
Colombia	Pontificia Universidad Javeriana	Bogotá	3
Colombia	Universidad de los Andes	Bogotá	
Guatemala	Universidad Rafael Landívar	Guatemala City	
Mexico	Universidad de Guadalajara	Guadalajara	
Mexico	Universidad de Guanajuato	Guanajuato	
Mexico	Universidad Iberoamericana	México City	
Mexico	Universidad Nacional Autónoma de México	México City	
Mexico	Instituto Tecnológico Autónomo de México	México City	
Mexico	Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Monterrey	Monterrey	
Mexico	Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Occidente	Tlaquepaque	
Spain	Universitat Autònoma de Barcelona	Barcelona	
Spain	Universidad de Burgos	Burgos	
Spain	Universidad Pontificia Comillas	Madrid	
Spain	Universidad de Córdoba	Córdoba	
Spain	Universidad de Deusto	Bilbao	
Spain	Universidad de Jaén	Jaén	
Spain	Universidad de La Laguna	Canary Islands	
Spain	Universidad Loyola Andalucía	Córdoba	
Spain	Universidad Autónoma de Madrid	Madrid	

秋学期出発 (学内選考の募集：前年の10月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.42参照)
Spain	Universidad de Salamanca	Salamanca	3
Spain	Universidad de Sevilla	Sevilla	
Spain	Universitat de València	Valencia	
Spain	Universidad Católica de Valencia San Vicente Mártir	Valencia	

ロシア語圏

留学に必要なとされる語学能力：ロシア語学科2年次修了程度のロシア語能力

出願に必要な書類：ロシア語学科の学生は証明書不要
上記以外の学科の学生は、ロシア語能力を示す証明書のコピーまたはロシア語能力を示す本学常勤教員の推薦状を提出すること。

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

春学期出発 (学内選考の募集：前年の6月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.42参照)
Belarus	Belarusian State University	Minsk	3
Russia	Far Eastern Federal University	Vladivostok	
Russia	Moscow State University	Moscow	
Russia	Petrozavodsk State University	Petrozavodsk	
Russia	Saint-Petersburg State University of Culture	St. Petersburg	
Russia	Ryazan State University	Ryazan	
Russia	Voronezh State University	Voronezh	
Uzbekistan	Tashkent State Institute of Oriental Studies	Tashkent	

秋学期出発 (学内選考の募集：前年の10月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.42参照)
Kazakhstan	Al-Farabi Kazakh National University	Almaty	3
Russia	Herzen State Pedagogical University of Russia	St. Petersburg	
Russia	Moscow State Linguistic University	Moscow	
Russia	Saint Petersburg State University	St. Petersburg	

ポルトガル語圏

留学に必要なとされる語学能力：授業についていけるポルトガル語能力

出願に必要な書類：ポルトガル語学科の学生は証明書不要
上記以外の学科の学生は、ポルトガル語能力を示す証明書のコピーまたはポルトガル語能力を示す本学常勤教員の推薦状を提出すること。

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

春学期出発 (学内選考の募集：前年の6月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.42参照)
Brazil	Universidade de Brasília	Brasília	3
Brazil	Pontificia Universidade Católica do Rio Grande do Sul	Porto Alegre	
Brazil	Universidade de São Paulo	São Paulo	
Brazil	Pontificia Universidade Católica de São Paulo	São Paulo	
Brazil	Universidade Estadual de Campinas	Campinas	

秋学期出発 (学内選考の募集：前年の10月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.42参照)
China	University of Macau	Macau	3
Portugal	Universidade de Aveiro	Aveiro	
Portugal	Universidade de Coimbra	Coimbra	
Portugal	Universidade do Minho	Braga	
Portugal	Universidade do Porto	Porto	

イタリア語圏

留学に必要なとされる語学能力：授業についていけるイタリア語能力

出願に必要な書類：
イタリア語能力を証明する書類、または原則としてイタリア語を母語とする本学イタリア語常勤教員の推薦状

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

秋学期出発のみ (学内選考の募集：前年の10月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.42参照)
Italy	Università di Cagliari	Cagliari	2
Italy	Università Carlo Cattaneo (LIUC)	Castellanza	2
Italy	L' Università degli Studi di Napoli "L' Orientale"	Napoli	3
Italy	Università di Roma "La Sapienza"	Roma	2
Italy	Università Ca' Foscari Venezia	Venezia	2

韓国語圏

留学に必要なとされる語学能力：授業についていける韓国語能力

出願に必要な書類：
韓国語能力を証明する書類、または原則として韓国語を母語とする本学常勤教員の推薦状

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

春学期出発のみ（学内選考の募集：前年の6月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.42参照)
S.Korea	Catholic University of Korea	Puchon	3
S.Korea	Catholic University of Daegu	Gyeongbuk	
S.Korea	Hankuk University of Foreign Studies	Seoul	
S.Korea	College of Humanities, Pusan National University	Beon-gil, Busan	
S.Korea	Seoul National University	Seoul	
S.Korea	Sogang University	Seoul	
S.Korea	Sookmyung Women's University	Seoul	
S.Korea	Yonsei University	Seoul	

中国語圏

留学に必要とされる語学能力：授業についてける中国語能力

出願に必要な書類：

中国語能力を証明する書類、または原則として中国語を母語とする本学常勤教員の推薦状

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

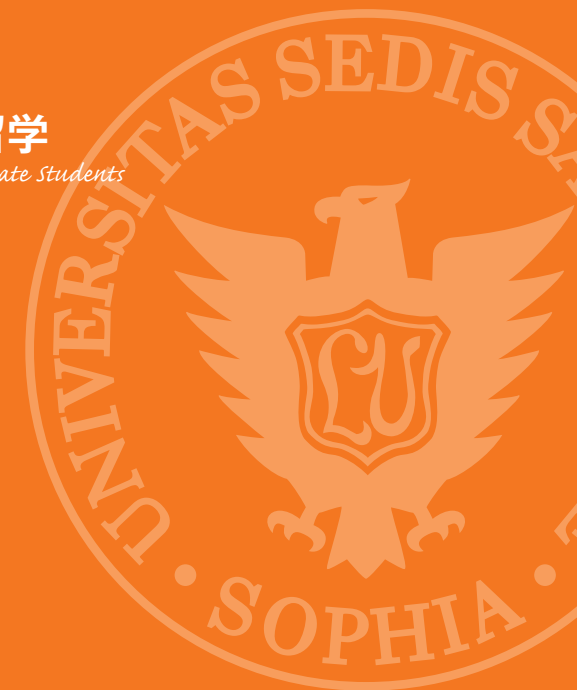
Loyola > ダウンロードセンター > グローバル教育センター > 「交換留学協定校語学要件」

秋学期出発のみ（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.42参照)
China	Beijing Foreign Studies University	Haidian District, Beijing	2
China	Central University of Finance and Economics	Beijing	2
China	China Foreign Affairs University	Beijing	2
China	Chinese University of Hong Kong (CUHK)	Shatin, Hong Kong	2
China	Fudan University	Shanghai	2
China	Harbin Institute of Technology	Harbin	2
China	Nankai University	Tianjin	3
China	Renmin University of China	Beijing	2
China	Tsinghua University	Beijing	2
China	Wuhan University	Wuhan	2
China	Xiamen University	Xiamen	2
China	University of Macau	Macau	2
Taiwan	Fu Jen Catholic University	Xinzhuang Dist., New Taipei City	2
Taiwan	National Chengchi University	Wenshan District, Taipei	2
Taiwan	National Taiwan University	Taipei	2



第三部 | 大学院生の留学

part 3 . Study Abroad Program for Graduate Students



1 在学中の留学

A 交換留学プログラム

対象：博士前期1年次以上（1年次2学期目以降）
 大学院生も通常の交換留学に出願できますが、それ以外にも以下の大学院生向けの交換留学プログラムがあり、出願要件は通常の交換留学に準じます。各プログラムの詳細は本学ホームページで確認するか、個別にグローバル教育センターにお問い合わせください。なお、通常の交換留学に出願する場合は、学内願書受付期間の1カ月以上前に、グローバル教育センターまで問い合わせる必要があります。
 →P.32参照

GSC-SMS 枠交換留学

対象：博士前期（1年次2学期以降）
 本学グローバル・スタディーズ研究科が加盟するGSコンソーシアム（Global Studies Consortium）の「Student Mobility Scheme（SMS）」による、加盟校内の博士前期課程の大学院生を対象とした交換留学プログラムです。
 募集時期：年2回（1月頃：秋出発分、6～7月頃：春出発分）
 留学期間：1学期または1年間（2学期）

WUT/ZHAW（理工学研究科対象）交換留学

対象：博士前期（1年次2学期以降）および後期課程
 理工学研究科の大学院生を対象とした交換留学プログラムです。
 留学先大学：Warsaw University of Technology（WUT）
 ZHAW School of Engineering
 募集時期：年2回（1月頃：秋出発分、6～7月頃：春出発分）
 留学期間：1学期または1年間（2学期）

アンジェ大学（フランス）大学院生交換留学

対象：博士前期（1年次2学期以降）および後期課程
 フランス研究に係る分野の大学院生を対象とした交換留学プログラムです。
 募集時期：年1回（1月頃、秋出発のみ）
 留学期間：1学期または1年間（2学期）

フライブルク大学（ドイツ）ドクターコース交換留学

対象：博士後期のみ

ドイツ文学、神学、哲学を専攻している博士後期課程の大学院生を対象とした、原則として2年間の留学プログラムです。

募集時期：グローバル教育センター要相談
 （目安として秋学期からの留学は4月、翌春学期からの留学は10月まで）

イエール大学博士後期課程2～3年次交換留学

対象：博士後期のみ
 History, Art, Anthropology, Economics, Sociology, Politics等の分野において日本に係る研究を行う博士後期課程2～3年次の大学院生を対象とした交換留学プログラムです。
 募集時期：年2回（1月頃：8～9月出発分、6～7月頃：翌1月出発分）
 留学期間：1学期または1年間（2学期）

B Graduate Institute（スイス・ジュネーブ）との3+2プログラム

The Graduate Institute of International and Development Studies（ジュネーブ国際・開発研究大学院）は、スイス・ジュネーブの中心地にあり、数多くの国際機関職員や外交官を輩出してきた大学院です。同大学院では、国際関係学、国際法、歴史学、経済学、人文学や開発学等の幅広い専攻分野が提供されています。このプログラムは、上智大学の学部で3年間学んだ後に、先方の大学院で2年間の修士課程を終えると、計5年間で学士号（上智）と修士号（Graduate Institute）が取得できるプログラムです。

希望者は先方の定める要件を満たし、通常の入学審査に出願して合格する必要がありますが、上智大学の推薦を通して同大学院に出願することによって、一般受験者より優先的に審査されます。

進学対象大学院：The Graduate Institute of International and Development Studies
 対象専攻：Interdisciplinary Masters：International Affairs, Development Studies
 Disciplinary Masters：Anthropology and Sociology, International Law, International Economics, International History, International Relations/Political Science

対象者：2019年11月時点で、上智大学学部3年次生の者
 募集時期：年1回（10～11月頃） 進学時期：翌年秋学期

その他のプログラムについては、大学Webサイトを参照してください。

2 海外大学院特別進学制度

本学では、上智卒業後にコロンビア大学等海外大学院への進学を希望する学生が、上智の推薦を受けて出願する制度を設けています。大学によって優先的な審査や、一部費用の減免等のメリットがあります。

フォーダム大学大学院

フォーダム大学大学院の下記専攻に進学を希望し、先方の入学基準を満たす者は、本学の推薦に基づき通常の審査よりもシンプルな手続によって入学が可能です。また、一部授業料の減免措置も適用されます。

進学対象大学院：Fordham University Graduate School of Arts and Sciences

対象専攻：Elections and Campaign Management (ECM)

International Political Economy and Development (IPED)

Urban Studies (URST) Public Media (PMMA)

Humanitarian Studies (MSHS)

対象者：翌年3月または9月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生

募集時期：年1回(10~11月頃) 進学時期：翌年秋季学期

コロンビア大学 Teachers College

Teachers Collegeの志望専攻での出願要件を満たす者は、本学の推薦を受け同大学院に出願することによって、一般受験者より優先的に審査されます。

進学対象大学院：Columbia University Teachers College

対象専攻：全てのプログラム

対象者：翌年3月または9月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生

募集時期：年1回(10~11月頃) 進学時期：翌年秋季学期

コロンビア大学 School of Professional Studies

School of Professional Studiesの志望専攻での出願要件を満たす者は、本学の推薦を受け同大学院に出願することによって、一般受験者より優先的に審査されます。

進学対象大学院：Columbia University School of Professional Studies

対象専攻：全てのプログラム

対象者：翌年3月または9月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生

募集時期：年1回(10~11月頃) 進学時期：翌年秋季学期

ジョージタウン大学大学院

ジョージタウン大学大学院の下記専攻の出願要件を満たす者は、本学の推薦を受け同大学院に出願することによって、一般受験者より優先的に審査されます。

進学対象大学院：Georgetown University Graduate School of Arts and Sciences

対象専攻：Department of Government (M.A. in American Government, M.A. in Conflict Resolution, M.A. in Democracy and Governance)

McCourt School of Public Policy (Master's in Public Policy, Master's in International Development Policy)

対象者：翌年3月または9月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生

募集時期：年1回(10~11月頃) 進学時期：翌年秋季学期



第IV部 | 留学に関する規則

part 4. Regulations



A 留学の資格

学部生で留学を希望する者は、留学出発までに本学に1年以上在学し、留学に出発する前の学期までに32単位以上を修得しておく必要があります。留学した年度は在学期間に算入されるため、学則第40条(注)の対象となります。(交換留学の学内選考出願は1年次でもできますが、留学開始は2年次以降となります。)

(注) 連続する2カ年において、学部学科が指定する授業科目を含む32単位以上を修得できない者については、学長が退学を決定する(学則第40条)

大学院生で留学を希望する者は、留学出発までに本学大学院に1年以上在学し、本学において修得すべき授業科目10単位以上を修得していることが必要です。ただし、指導教員及び専攻主任の許可がある場合は、本学大学院に1学期在学しており、10単位以上履修登録することで基準を満たすこととします。出願前の留意事項についての詳細は履修要綱を参照してください。

B 留学の期間

1. 留学期間は交換留学は1学期または1年、一般留学は1クォーター単位で申請が可能です。ただし、継続して留学が許可された場合は最長2年まで延長できます。交換留学の場合は出発前に留学期間が指定されます。

※交換留学の場合、「交換留学」の身分は最長1年(4クォーター)

但し、申込時に1学期(2クォーター)とした場合、その後「交換留学」の身分を1年(4クォーター)に延長することはできません。

※p.32(3)「留学期間と回数」参照

2. 2年間留学した場合、2年とも「在学期間」に算入されますが、「修業年限」に算入されるのはそのうちの1年間だけです。

※修業年限→卒業に必要な4年間 ※在学期間→本学に最長在学できる8年間

C 留学の延長または取消し

1. 許可された留学期間を超える場合は、その期間終了の1カ月前、かつ留学を希望するクォーター開始の前日までにあらためて留学願を提出し、許可を受けてください。
2. 留学をやむをえず取消す場合は理由書を添えてすみやかに手続きを行ってください。交換留学の場合はグローバル教育センターに、一般留学の場合は学事センター(学籍)に事前にご相談ください。

D 留学前後の手続一覧 (詳細については各該当箇所を参照のこと)

留 学 前

窓口	手続・提出書類等	注意
グローバル教育センター	「留学願(交換留学)」	提出前に学科の指導を受けること
	指定保険・危機管理サービス加入	出発1カ月前までに窓口で問い合わせること
学事センター(学籍)	「留学願(一般留学)」	提出前に学科の指導を受けること 「留学願(一般)」は留学の1カ月前かつ留学を希望するクォーターの前日までに提出すること

留 学 中

帰国後の単位換算に必要な書類を確認し、留学先大学で通常発行していない書類や、単位換算の申し込み時点で間に合わないおそれのある書類などは、余裕を持って留学先大学に請求してください。(P.61-64「単位換算について」参照)

帰 国 後

窓口	手続・提出書類等	注意
学事センター(学籍)	「帰国届」	旅券コピー(日本で押印される出国、入国のスタンプのあるページ)を添付すること
学事センター(教務)	履修要覧の受取り	学生証を提示する
	◇修得単位換算願	◆P.61「履修登録について」参照 ◆登録されていない科目の単位は修得できないので必ず確認のこと ◆P.61-64「単位換算について」参照
グローバル教育センター	「交換留学レポート」	交換留学の場合のみ

☆ 履修登録や単位に関する相談は、学事センター(教務)で行ってください。

E 履修登録について

履修計画

留学の種類や留学期間によって卒業の時期は異なりますが、計画通りの時期に卒業するためには、事前に履修計画をしっかりと立てておく必要があります。卒業の要件は、①修業年限を満たす②卒業に必要な所定の授業科目の単位を修得する、の2点です。この条件が満たされると、留学中であっても修業年限を満たした年度の3月に自動的に卒業となります(4月入学者の場合)。

前年度の履修科目や単位換算の予定を含め十分に計画を立て、学科の履修指導を受けてください。

F 単位換算について

留学中に修得した科目の単位は、最高30単位まで本学の単位に換算することができます。ただし単位数は、本学の基準により換算するので、留学先大学で修得した単位数のままでは算入されません。上智大学で開講している科目名や単位数に読みかえることなく、留学先大学で取得した科目を上智大学の基準で計算した単位数に換算します。その際、その換算により必修科目等の履修が免除されることもあります。

1. 必要書類

* 帰国後、提出書類を元に単位数の計算根拠等の確認を行います。これらの書類がすべて揃わないと、単位換算手続きができないので、十分注意すること。

	手続・提出書類等	注意
留学先で取り寄せるもの	成績証明書	大学発行の大学印および署名のある原本 ※ Webからのプリントアウト、コピー不可。 ただし留学先がオセアニアの場合はMy eEqualsからの提出も可とする。
	成績の評価基準を示す文書	合否の基準(どの評価までが単位修得となるのか)が明記されているもの(成績証明書に記載があれば、それも可)
	留学先大学の学年暦	授業開始日・終了日、試験期間、休暇期間を示す書類 ※ HPなどのプリントアウト、コピーでも可
	各科目シラバス (講義内容が書かれた書類)	成績証明書と科目名が一致していること ※ HPなどのプリントアウトも可 ※ シラバスがない場合は、担当教員に事情を説明し必ず作成してもらうこと。シラバスがない科目については単位換算申請できません。
帰国後に受取るもの	クラススケジュール (各科目の時間割)	各科目の時間数(1科目あたりの総時間数あるいは授業の曜日・時限および1限あたりの時間)を示す書類 ※ シラバスや成績証明書等に記載されている場合は不要。
	修得単位換算願・単位換算計算用紙	学事センター(教務)窓口にて受け取る
	Evaluation Form ※ 国際教養学部事務室のみ	国際教養学部事務室にて受け取る

* 換算内容によっては、上記の書類を英語または日本語に翻訳する必要があります。不明な点は学事センターに問い合わせること。

* 「語学科目」を換算希望の場合

- (1) 内容が判定できる書類(シラバス、テキスト、テスト等)が必要です。
- (2) 原則として単位換算時には留学先の大学で修得した語学科目のレベルは問いませんが、各自のレベルに見合った科目を履修してください。なお、わからないことがある場合には事前に学事センター(教務)に相談してください。

* 全学共通科目の「高学年向け教養科目」に換算を希望の場合、原則として、ナンバリングでの説明やシラバスなどに高学年・上級生向けなどの記載が必要となります。

* “tutorial”や“independent study”など、一定の授業時間を持たず、レポートや論文などの成果物をもって成績評価される科目があります。これらの科目を換算希望の場合は、論文と詳細な論文指導内容の提出を求められますので、担当教員にシラバスを作成してもらってください。

【注意】 大学によっては、必要事項が記載された書類が発行されていない場合があります。その場合は以下の書類を揃えてください。

- ① 授業内容や時間数に関しては担当教員のサインのある証明書
- ② 学年暦や成績評価基準に関しては交換留学オフィス等発行の書類、もしくはHP等のプリントアウト
特に授業時間に関しては、曜日・時限のある詳しい記述が必要ですので、注意してください。

2. 単位換算の計算式

(1) アメリカ等大部分の大学

$$\frac{\text{1回の授業時間(分換算)} \times \text{週の授業回数} \times \text{科目の開講期間(週数)}}{\text{上智大学の基準時間}} \div \text{基準時間}$$

(2) スペイン、ブラジル等一部の大学

$$\frac{\text{1年間の総授業時間数} \times 60 \text{ (分換算)}}{\text{上智大学の基準時間}}$$

上智大学の基準時間

科目種別	基準授業時間数
講義・演習	675分 (1単位)
外国語・演習	1,350分 (1単位)
実験・実習	2,025分 (1単位)
体育実技	1,350分 (1単位)

* 単位換算の計算式の根拠となるクラススケジュールがないと換算はできないので、注意してください。

3. 単位換算願の手続

- (1) 帰国後、「修得単位換算願」および「単位換算計算用紙」に必要事項を記入します。
- (2) 前頁の必要書類をもって所属学科の指導を受け、「修得単位換算願」に指導印をもらいます。(卒業要件のどの科目区分に何単位分として認定してもらう予定か、また換算後の履修計画等を踏まえたうえで、換算を希望すること。) なお、学科指導を受ける前に、学事センターにて計算方法に間違いがないか、換算可能な単位数を確認しておくことを勧めます。
- (3) 帰国後3カ月以内に、前記必要書類を学事センター(教務)に提出してください。(換算が終わるまで約1カ月を要するので、履修登録の日程を踏まえ、提出の時期を考えること。成績証明書は返却しないので、注意すること。) 連続して複数のプログラムに参加した場合は、全てのプログラムの終了・帰国後3カ月以内に提出することも可能です。

* 留学による単位換算を含む単位認定の取り扱い期間

春学期単位認定分として取り扱う期間:2019年1月31日(木)~2019年7月25日(木)
秋学期単位認定分として取り扱う期間:2019年7月26日(金)~2020年1月29日(水)

上記の期間内に全ての必要書類を提出することが必須となります。
国際教養学部生は学費請求の都合上、上記にかかわらず次学期の単位認定となる場合があります。

- (4) 換算に際し必要がある場合には、さらに書類の提出や面接を求められることがあります。
- (5) 換算が終わると教学支援システム“Loyola”の掲示板機能にて呼び出しを行なうので、必ず学事センター(教務)で換算後の修得単位換算願の写しを受け取り、卒業要件や今後履修すべき科目等よく確認してください。(単位換算をすると、卒業に必要な単位数の計算が複雑になるので十分な注意が必要です。不明な点は換算後すぐに相談すること。なお、この写しは再発行されない為、卒業まで大切に保管すること。)
- (6) 換算に際し提出した書類はいかなる理由があっても返却できません。必ず事前に写しを取っておいてください。

4. 注意

留学による単位換算は1プログラムにつき1度しかできません。また、決裁後の換算内容の変更等も一切できません。単位換算はその後の履修計画や卒業要件に関わりますので、学科の先生と面談のうえ、慎重に行ってください。

なお、以下のことはできませんので、注意してください。

- ・ 郵送や代理人による申し込み。
- ・ 本学休学中に海外の大学で修得した科目の単位換算。
- ・ 体育以外の実技科目(例えばタイプライティング、ピアノ等音楽のレッスン、陶芸、デッサンなど)の単位換算。
- ・ オンラインで行われる授業科目の単位換算。

5. その他

- (1) 計算して例えば3単位となった科目の同種別科目を2つ合わせて6単位換算し、この6単位をもって4単位の必修科目等に充当させることがあります。
- (2) 学科科目として換算を希望する場合、換算する科目ごとに計算した結果、小数点第1位までの和をもって総換算単位とすることができます。(総換算単位の小数点以下は切り捨て)

(例) 学科科目

科目名	計算結果
国際政治	4.5
アメリカの政治	4.2
経済学	3.2
ジェンダー論	0.9

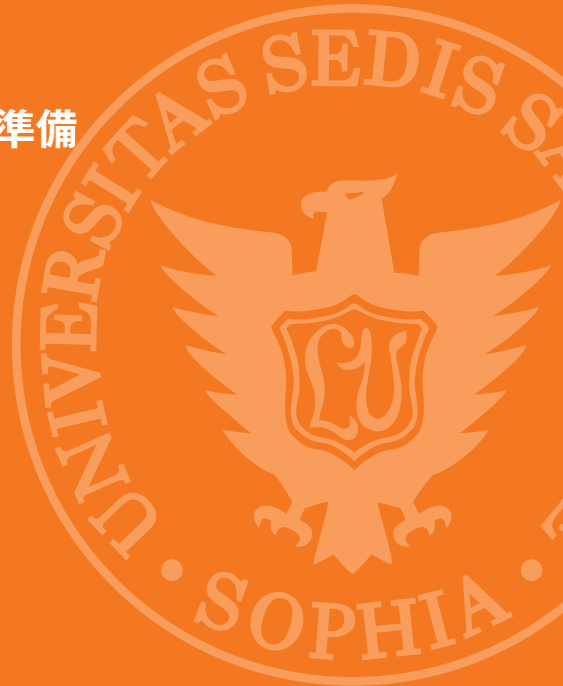
計算結果合計 = 12.8 単位
換算単位 = 12 単位

- (3) 全学共通科目として換算を希望する場合も、前記(2)の方法に準じますが、各カテゴリー別(必修、選択必修(キリスト教人間学)、選択)に換算します。



第V部 | 留学に必要な準備

part 5. Preparation for Study Abroad



1 留学中の留意点

A 危機管理

自然災害、感染症、テロ、交通事故、暴力犯罪等に留学生が巻き込まれる可能性は常にあり、実際に本学学生が事故や盗難の被害などに遭ったケースも報告されています。

防ぎきれない突発事故がある一方、「自分の身は自分で守る」という意識を持って渡航し、日ごろから各自が注意することで未然に防止できる事件・事故も多くあります。

自分の身は自分で守る、ということを再認識し、現金や貴重品の取り扱いに注意する、暗い道の一人歩きは避ける、危険地域には近づかない、SNS上で個人の活動動向が容易に特定できるような発信は控えるなど、留学中は日本で生活する時以上に安全に注意して行動することが大切です。

渡航先の治安・医療事情の最新情報は出発前に必ず入手してください。また、現地警察・滞在先の在外公館の電話番号、保険会社の連絡先、留学先大学の緊急連絡先などは常に携帯しておくといざというときに役立ちます。

①上智大学の海外留学、派遣プログラムの実施判断基準

上智大学で公式に実施する派遣留学プログラム（長期の交換留学や短期プログラム等）では、渡航地域は危険情報の発出がない地域もしくはレベル1「十分注意してください」まで、レベル2以上の場合、プログラムの取りやめを判断しています。また、現地の情勢悪化等があれば、派遣者の安全を優先し、現地状況を確認のうえレベルに関わらずプログラム実施の取りやめを判断することもあります。

自身で留学・渡航計画をする際も、外務省の危険レベルに留意して計画を立てると共に、不要不急な渡航の場合は、レベル2以上の地域への渡航は見送りすることも検討してください。

【外務省海外安全ホームページ】 <https://www.anzen.mofa.go.jp/>

安全な渡航・滞在のための情報を国・地域別に掲載しています。現地情勢や感染症の発生状況、安全対策の目安を4つのカテゴリ（次ページ参照）に分けて掲載しているほか、対象者ごとのお役立ち情報もあり、渡航先、滞在先の危険レベル、安全情報の収集に役立ちます。

同一国内でも地域により状況は大きく異なります。渡航前には現地の治安情報、渡航ルートの安全状況も十分考慮のうえ留学計画を立てるようにしてください。

【外務省世界の医療事情】

各地域の衛生医療事情やかかりやすい病気や怪我、および健康上の留意点、予防接種情報等が記載されています。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/>

【外務省の危険レベル】

危険レベル		説明
発出なし		危険情報や感染症危険情報は出ていないが、最新のスポット情報や安全対策基礎データ等を参照の上、安全対策に心がけてください。
危険レベル ↑ 低 ↓ 高	1 「十分注意してください。」	その国・地域への渡航、滞在に当たり、危険を避けていただくため特別な注意が必要です。 [大学プログラムの実施は原則このレベルまで]
	2 「不要不急の渡航は止めてください。」	その国・地域への不要不急の渡航は止めてください。渡航時は特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください。
	3 「渡航は止めてください。(渡航中止勧告)」	その国・地域への渡航は、どのような目的であれ止めてください。 (現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性や準備を促すメッセージを含むことがあります。)
	4 「退避してください。渡航は止めてください。(退避勧告)」	その国・地域に滞在している方は滞在地から、安全な国・地域へ退避してください。どのような目的であれ新たな渡航は止めてください。

②危機管理ガイダンス

学期中には、各種大学プログラム参加者向けの危機管理ガイダンスを実施しているほか、私費留学や課外活動、学会参加等の海外渡航者も対象の「危機管理ガイダンス」(概要と実践編)を年数回実施していますので、渡航前に参加してください。

③渡航時の対応必要事項

留学中滞在先および連絡先の周知

留学期間中の緊急連絡先(現地の寮の電話番号、メールアドレス等)は家族、日本の知人、大学関係者(現地および本学)に必ず知らせてください。また、留学中に旅行で宿舎を長期間不在にするときや転居する場合も必要など所に必ず連絡してください。日本にいる家族・知人はあなたが思っている以上に心配しています。こまめな連絡を忘れないように心がけ、滞在国や地域で事件や事故、災害などがあった場合は、自分から家族へ連絡し、無事を知らせてください。

在留届とたびレジ

3カ月以上海外に在留する日本人は法律により最寄りの日本大使館・領事館に「在留届」を提出することが義務付けられています。留学先到着後速やかに手続きが必要です(出発前のオンライン登録も可能)。

「たびレジ」は、海外に3カ月未満滞在中に登録すれば、滞在先の最新の渡航安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、いざという時の緊急連絡などが受け取れる外務省の海外旅行登録システムです。3カ月未満のプログラムに参加する方や留学先から第三国へ旅行する際には、旅行日程・滞在先・連絡先等を必ず登録してください。



B 海外留学保険および危機管理サービスへの加入義務について

交換留学をはじめ、海外渡航プログラムに参加することは、長期・短期を問わず語学力の向上や異文化対応能力を身につける絶好の機会となります。その一方で、安全で衛生管理の行き届いた日本社会に暮らす私たちには予想できないような環境や、不測の事態に対応しなければならないことも起こりえます。

上智大学ではこうした事態に対応できるよう、学生のみさんの海外渡航時の危機管理体制を構築・運用しており、大学に届出を提出して海外渡航する学生のみさんには全員、大学の指定する保険ならびに危機管理サービスに加入することを義務づけています。

●対象者

大学が関与するすべての海外渡航プログラムに参加する学生
(個人的な旅行などを除き、大学のプログラムの一環として海外に渡航する方。
一般留学や休学留学の方も含まれます。)

No.	プログラムの種類
1	交換留学
2	海外短期プログラム(語学講座、短期研修、実践型プログラム)、インターンシップ科目
3	グローバル教育センターが提供する1、2以外のプログラム
4	学部・学科などグローバル教育センター以外が主催するプログラム* *ドイツ語学科「在外履修」、総合グローバル学部「自主研究」、学生センター主催 海外プログラム、キャリアセンター「インターンシップ」等
5	一般留学・休学留学
6	研究発表(学会参加)・ゼミ合宿等による海外渡航・特別研究員DC1/DC2

海外での課外活動の実施は加入の要否を確認しますので、まずは学生センターに問い合わせください。

●指定保険ならびに危機管理サービス

渡航前にaとb両方の加入が必須です。

a. 海外留学保険:

学生教育研究災害傷害保険(学研災)*に付帯する海外留学保険「学研災付帯海学」
*教育研究活動中の災害に対して必要な給付を行う災害補償制度で、学研災には本学在籍者は全員加入済です。

※2018年度は全国400大学が参加。スケールメリットを活かした割引保険料が適用されるため、一般的な海外旅行保険よりも割安に加入することができます。

b. 危機管理サービス

特定非営利活動法人海外留学生安全対策協議会(JCSOS)が提供する「海外留学生トータルサポートサービス(J-TAS)」で、学生と保証人は24時間365日サポートデスクを利用することができます。

問い合わせ先: グローバル教育センター

C メンタルヘルスについて

留学は気軽に参加できるプログラムが増え、選択肢も広がっています。他方、プレッシャーや生活環境の変化への適応困難、対人関係の難しさ、インターネット上で氾濫する情報やSNS上でのトラブルなどにより、留学中に体調だけでなく精神の不調を訴える人も増えてきています。

留学は生活環境も習慣も異なる場所で家族や仲のよい友人から離れて一人で過ごすことになるため、留学前に思い悩み不安になる、出発後、カルチャーショックやホームシックになるというのは誰にでも起こりうることです。また、留学を開始して、勉強方法や対人関係の違いに戸惑ったり、授業や課題のスピードについていけず壁にぶつかったりすることもあるでしょう。

出発前に留学先で使用する言語を学ぶ、勉強の進め方に違いがあることを理解して、レポートや課題の準備の仕方など学習方法に慣れておく、留学先の文化や習慣を把握する、現地の情報を集めておく、自分がストレスに対して身体面、感情面、行動面でどのように反応しやすいか気づくなどが、留学生生活をスムーズにスタートする際、効果的です。

到着後しばらくは生活に慣れることが先決です。食事や睡眠などできるだけ規則正しい生活を送ることで生活にリズムをつける工夫をしてみましょう。あせらずに、適度に身体を動かすなど気晴らしをする、わからないことをそのままにしたり誰かが教えてくれるのを待つのではなく、自分から質問したり人に働きかけたりする、自室に1人でこもらないなども意識してみましょう。また、出発前に目的を見失った場合などは、再度P.14にあるような自己分析を行ってみてください。

多少の落ち込みや不安は誰でも経験することです。しかしながら自分なりに対処しても、落ち込んだ状態や孤独感、無気力などから抜け出せない、夜眠れない、食欲がない、疲労感が回復しない、勉強に集中できない、人との接触や交流を避けるなどの状態が続く場合は、早めに家族や友人、専門家などに相談し、自分ひとりで抱え込まないようにすることが大切です。

出発前であれば身の回りの人だけでなく学内の保健センターやカウンセリングセンター、グローバル教育センターで相談することもできますし、留学中であれば早めに留学先の大学のカウンセリングセンターやInternational Student Officeのスタッフに話してみるのもいいでしょう。

留学期間を快適に有意義に過ごすためにも、心身の健康を保てるよう十分留意してください。

2 留学のための語学能力試験

A TOEFL iBT®テストについて

アメリカの非営利団体ETSが世界各地で実施し、英語を母語としない人々の英語コミュニケーション能力を測定する試験。最近ではTOEFL iBT®テストが導入され、指定されたテスト会場を予約し、テストセンターのコンピューターを用いて試験を受ける形式になっています。年に約40回、国内のテストセンターにて実施されています(主に土・日)。英文を読み、講義を聴いてその内容についてSpeakingで回答する問題があるなど、海外の大学で遭遇する場面を想定した問題形態で出題されます。

名称：TOEFL iBT®テスト

主催：Educational Testing Service (ETS) <https://www.ets.org/toefl>

問い合わせ先：国際教育交換協議会 (CIEE) TOEFL®テスト日本事務局

<https://www.cieej.or.jp/toefl/>

※受験に関わる一般情報

プロメトリック(株) 予約受付センター 電話：03-6204-9830

受験料：US\$ 235 (受験日の7日前まで)

構成：Reading, Listening, Speaking, Writingの4セクション

所要時間：4~4.5時間(うち休憩10分間)

結果：試験の約10日後にインターネット上の自分のアカウント(My Home Page)でスコアの確認が可能になります。発送されるスコア票にはETSから教育機関に発送されるOfficial Score Reportsと本人控えとして送られるTest Taker Score Reportの2種類があります。Test Taker Score Reportは本人が希望した場合のみ送付されます。ETSからスコア票が発送されるのは試験日から約13日後です。

採点処理はETSで行われるため、結果到着が前後することもあります。

日程に余裕を持って受験してください(送付先がアメリカ国外の場合、発送から到着まで4~6週間程かかります)。

スコア：TOEFL iBT®テストは120点満点(各セクション30点満点)。公式スコアの有効期間は受験日から2年以内。公式スコアの有効期間内はETSから教育機関へスコアを直送してもらうことが可能で、大学によってはこの方法でのスコア提出を求められます。なお、TOEFL ITP®テスト(団体向けTOEFLテストプログラム)のスコアは、一部の協定校でのみ認められます。

®=登録商標のこと

学内でTOEFL説明会を実施します。詳細は裏表紙を参照してください。

B IELTS™について

International English Language Testing System (IELTS™：アイエルツ)は、英語力を公正かつ多角的に評価するために開発された4技能テストです。海外留学・研修のために英語力を証明する必要がある場合に、世界各国で幅広く利用されています。ブリティッシュ・カウンシル、IDP：IELTSオーストラリア、ケンブリッジ大学英語検定機構が共同運営で保有しており、公益財団法人 日本英語検定協会と一般財団法人 日本スタディ・アブロード・ファンデーションは、日本国内における実施運営をしています。交換留学では、英国の協定校に出願する際には、必ずIELTS™のスコアが必要となります。

名称：IELTS™ (International English Language Testing System)
 運営 ①：公益財団法人日本英語検定協会
 問い合わせ先：公益財団法人日本英語検定協会 IELTS事務局
 ウェブサイト：<http://www.eiken.or.jp/ielts/>
 IELTS公式東京テストセンター
 (東京・横浜・札幌・仙台・埼玉・長野・金沢・静岡会場)
 TEL：03-3266-6852 Email：jp500ielts@eiken.or.jp

運営 ②：一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション (JSAF)
 問い合わせ先：一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション (JSAF)
 IELTS公式テストセンター (JP112)
 TEL：03-6273-9356 Email：jsaf-ielts@japanstudyabroad.org
 ウェブサイト：<https://www.jsaf-ieltsjapan.com/>

受験料：1人1回あたり25,380円(税込)
 実施日程・申込締切・結果発送時期：
 各運営母体で異なるため、上記ウェブサイトにて確認すること
 構成：Listening(30分),Reading(60分),Writing(60分),Speaking(11~14分)
 ※交換留学出願のためには、「アカデミック・モジュール」を受験してください。

テスト結果：1.0~9.0まで0.5刻みのバンドスコアで表示。成績証明書には、各セクションのバンドスコアと、総合評価としてオーバーオール・バンドスコアの計5種類のスコアが表示されます。公式スコアの有効期限は筆記テスト実施日から2年以内となります。

™=商標のこと

3 留学費用について

A 滞在費について

留学先の地域、滞在期間、留学先(大学、語学学校等)、滞在先宿舎や休暇中の過ごし方および為替レートによっても変わりますが、滞在費として概ね次の金額が目安となります。

1年間留学する場合：120~200万円程度
 1学期間留学する場合：70~120万円程度

※交換留学の場合、留学先大学での授業料は免除されます。→P.34参照
 私費留学(一般留学・休学)の場合、上記金額に更に留学先授業料が必要となります。

滞在費以外でも、出発前に必要な経費もあります。留学前に全滞在期間中の留学費用の支弁証明書を求められることも多いので、十分な資金計画を立ててください。滞在費以外に必要なもの(例)：

- 渡航費用
- ビザ取得費用
- 健康診断、予防接種費用
- 海外留学保険・危機管理サービス加入費用 等

B 海外勉強中の上智大学学費について

形態	学費
<ul style="list-style-type: none"> ・交換留学 ・一般留学(1年留学) ・国連ユースボランティア 	留学中も在生として通常通り本学の学費が請求されます。 ・留学中の本学での在籍状態：交換留学／一般留学(1年以内)－「留学」：国連ユースボランティア－「在学」 ※国際教養学部生の場合、授業料は単位換算によって本学において修得したものとみなされる単位数が確定した時に請求します。 ※修学奨励奨学金を受給している場合は、留学前に学生センターに相談してください。
1年を超えて留学する場合	一般留学の継続または交換留学後に一般留学に切り替えた場合、または複数の交換留学プログラムに参加したことにより留学期間が1年を超えた場合は、一部減額措置があります。 詳しくは学事センター学費担当にお問い合わせください。
海外短期語学講座および海外短期研修	通常通り本学の学費が請求され、参加には別途プログラム費用がかかります。(一部プログラム費用が免除となるコースもあり)
インターンシップ科目(長期／中期／短期)	長期、中期、短期ともに通常通り本学の学費が請求されます。 ※国際教養学部生の場合、予め指定された単位数分の学費が請求されます。
休学して留学	本学学費の減額措置があります。 詳しくは学事センター学費担当にお問い合わせください。

C 奨学金について

留学に関する給付奨学金(返還不要)は、大きく分けて①公費奨学金(日本および各国の政府関係機関等から)、②民間財団基金や企業等の奨学金、③本学および留学先大学の奨学金の3種類があります。応募方法は、大学を通じて応募するものと個人で直接応募するものがあります。奨学金により募集の時期や条件等は異なりますが、応募手続、選考試験、留学先大学の選定・手続き等に準備期間が必要となります。

大学を通じて応募する奨学金

下記奨学金は、本学で選考を行うものおよび本学から推薦された後に奨学金支給団体による選考が別途行われるものです。募集情報は都度Loyola掲示板または本学ホームページでお知らせします。

名称	対象	支給内容	条件等
日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(協定派遣)奨学金	交換留学生	地域によって 月額6-10万円 渡航支援金(条件有)	交換留学期内選考合格者を対象に募集。時期によっては割当がない場合もある。本学からは2018年度は年間117名採用。
海外留学奨励費	「一般留学」者	上限10万円(1学期) 上限20万円(2学期)	「一般留学」の形態で留学する者。(2018年度11名採用)
トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム	留学形式を問わず 海外留学・ 実践活動を行う者	地域によって 月額6-16万円 留学準備金も一定額支給	本プログラム内の4つのコースから該当するものを選択し、大学を通して応募。本学から2018年度に採用されたのは9期5名、10期5名。
日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(大学院学位取得型)奨学金	海外の大学院にて 修士・博士の学位 取得を目指す学生	授業料(上限250万円) および地域によって 月額89,000円~148,000円	成績・語学力の基準、年齢制限あり。本学からは2018年度は5名採用。
ケルン奨学金	ドイツのケルン 大学に留学する 交換留学生	月額650ユーロ	交換留学期内選考後、派遣決定者の中から選考。年間1名採用。
よしや アイリーン 吉彌・愛琳 アイルランド 留学奨励費	アイルランドへの 交換留学生	15万円	交換留学期内選考後、派遣決定者の中から選考。年間1名採用。
大坂ドイツ留学 奨励費	ドイツへの 交換留学生	10万円	交換留学期内選考後、ドイツ文科学科・ドイツ語学科に在籍する派遣決定者の中から選考。年間3名採用。

名称	対象	支給内容	条件等
フランス政府 奨学金 (BGF)	フランスへの 交換留学生	社会保険給費 ビザ登録・申請費 航空券	交換留学期内選考後、フランスに留学予定でJASSO奨学金受給が内定している学生の中から選考。1~2名採用。
グローバル リーダー 養成奨励費	海外短期研修 参加者/ 交換留学生	5~15万円	指定のプログラムで留学する者。2019年度は交換留学プログラム参加者を対象に支給予定。
上智大学篤志家(理工学部同窓会)奨学金	理工学部開講の 海外短期研修 参加者	8万円(予定)	出願先: 学生センター 対象: 同プログラムに参加する理工学部および理工学研究科の学生。 出願時期や出願方法についてはLoyola掲示板を見ること。詳細は学生センターに問い合わせること。

その他、学生センターでは以下の留学中貸与奨学金(日本学生支援機構)の募集を行っています。出願要件・期間等の詳細は学生センターに問い合わせてください。

- ・「第一種奨学金【海外留学支援制度給付者対象】」(無利子)
- ・「第二種奨学金【短期留学】」(3カ月以上1年以内に留学する者が対象、有利子)
- ・「第二種奨学金【海外】」(海外大学・大学院への進学者が対象、有利子)

個人で直接応募できる奨学金

Loyolaまたはホームページ(HOME>グローバル教育・留学>国際交流/留学>留学費用/奨学金)を参照してください。また、留学にかかわる奨学金情報は、日本学生支援機構のホームページからも見ることができます。

<http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>



General Information on Study Abroad



General Information on Study Abroad for Students in English-based Undergraduate/ Graduate Programs

Students enrolled in the programs where English is the medium of instruction, such as FLA (Faculty of Liberal Arts), FST (Faculty of Science and Technology), etc. may study abroad through the Sophia Exchange Program or the General Study Abroad Program.

Students in those programs are regarded as being enrolled at Sophia while abroad, and may study abroad for one quarter or several quarters without taking a leave of absence. Also credits from an approved overseas institution may be transferred back to Sophia. Therefore they may graduate from Sophia in 4 years for the undergraduate students and in 2 years for the students in Master's Programs including the period of study abroad.

[Important]

Article 40* of University Regulations: (for undergraduate students only)
Students who fail to obtain 32 credits or more including subjects specified by undergraduate departments in two consecutive academic years** shall be dismissed from the university.

*Preferential Measures

Upon deliberation by the faculty meeting and with an approval from the president, a student who is in the third-year or above, and who has taken less than 32 credits in two consecutive academic years may be exempted from expulsion by Article 40, if the total number of credits taken divided by the number of total years of enrollment is more than 16 credits. In this case, the academic year which includes the period of leave of absence is not counted in the total period of enrollment but the credits earned shall be included in the total number of credits taken.

In the case of the students of the FLA and the English Programs in FST, the total number of credits earned divided by the number of semesters of enrollment should be more than 8 credits.

***"Two consecutive academic years" refers to two academic years of enrollment. If the student takes a leave of absence, the academic year that includes the period of leave of absence will not be counted as a part of the "two consecutive academic years," and instead, the academic years before

and after the year of leave of absence will be considered as those “two consecutive years.” (For FLA and FST students, four semesters excluding the semester on leave of absence will be regarded as “two consecutive academic years.”)

NB : Students who plan to study abroad on their own and do not wish to transfer the credits from the study abroad back to Sophia may take a leave of absence from Sophia for the time they are away. But if they do so, their graduation will consequently be delayed. Regarding payment of fees, please refer to P.79

◎ Sophia Exchange Program

【Programs Offered】

As of March 2019, 290 exchange programs are available to Sophia students. Applications for some institutions may not be accepted every year depending on the exchange balance of the incoming and outgoing students. Information sheet of each institution and other materials are available on Loyola (Download Center).

【Advantages of Participation】

You can study abroad up to one year (4 quarters) without taking a leave of absence. Therefore you may graduate from Sophia in 4 years for the undergraduate students and in 2 years for the students in Master's Programs including the period of study abroad. Once you are selected as an exchange candidate, the Center for Global Education and Discovery will assist application procedures for the prospective host institution.

【Credit Transfer】

For the undergraduate students, up to 30 credits obtained at the host institution can be transferred to Sophia, subject to approval by the chairperson of each student's department.

Graduate students should inquire at the Center for Academic Affairs about credit transfer.

The transfer factor for credits basically depends on time spent in class. 675 minutes constitute one credit at Sophia. In the case of a foreign language class or seminar, 1,350 minutes are regarded as one credit. Credits should be calculated to the first decimal place.

The formula is as follows:

$$\text{minutes of the class} \times \text{times per week} \times \text{number of weeks} \div 675 \text{ (or 1,350)} = \text{number of the credits which may be transferrable to Sophia}$$

In some cases, transferred credits may be combined together: for example, 4.5+4.2+3.2+0.9credits may be combined together as 12 credits.

Required Documents for Credit Transfer

The following documents should be submitted to the Center for Academic Affairs within three months after returning from overseas.

- ① Credit transfer application form and calculation form (available at the Center for Academic Affairs)
- ② Evaluation Form (FLA only, available at the FLA office)
- ③ Documents issued by the host university
 - Official transcript
 - Document which shows the grading system (may be indicated on the official transcript)
 - Course descriptions / syllabus
 - Course schedule
 - Academic calendar

* To transfer credits for the language courses, documents such as syllabus and textbooks are necessary to check the content of the course. If you were placed in an appropriate level at the host institution, level of the language course taken while abroad do not need to be the same as the level of courses taken at Sophia. If you have any question, please consult with the Center for Academic Affairs.

Please note that the credit transfer procedure usually takes one month after submission, and the completed documents must be submitted in time to be transferred for each semester.

Application period to transfer credits into Spring Semester 2019 : Jan. 31 (Thu) to Jul. 25 (Thu), 2019
Application period to transfer credits into Autumn Semester 2019 : Jul. 26 (Fri), 2019 to Jan. 29 (Wed), 2020

When the credit transfer is approved, you will be notified via Loyola web system. Please come to the Center for Academic Affairs to pick up the copies of the approved documents. Please note that you will not be able to make any changes on transferred credits, once approved.

◎ General Study Abroad Program

Students who plan to study abroad on their own at a degree-awarding institution and wish to transfer the credits back to Sophia must apply in advance to the General Study Abroad Program. Students who plan to apply for General Study Abroad Program should have finished at least 4 quarters and have obtained more than 32 credits at Sophia by the time they begin their General Study Abroad Program. (For graduate students, 10 credits or more are required.) They should submit the “Request for Study Abroad” (留学願) 1 month prior to start study abroad and by the day before the quarter start day.

General Study Abroad students may study abroad for one quarter or more quarters (in total up to 4 quarters). If students wish to extend the period, they can reapply for the study abroad program (in total up to 2 years). In this case, only one year is considered as residence requirement. Credit transfer arrangements are the same as those for the Exchange Program students. Students must apply independently for an approved institution and arrange their own accommodation. Another distinction between the Exchange Program and the General Study Abroad Program is that students must pay tuition and fees both to Sophia and the overseas institution.

◎ Tuition and Fees during Study Abroad

Exchange students will pay the tuition and fees only to Sophia*, but General Study Abroad students must pay the tuition and fees both to Sophia and to the overseas institution. Travel and living expenses should be covered by the students. The cost will vary greatly depending upon currency exchange rates, the student's life style and how he/she spends vacations.

Limited scholarships are available to the participants in the exchange program. Please see P.73・74 for details.

*If exchange students participate in a language program of the host university before the regular courses start, they are responsible for the tuition fee for the course. This also applies to the summer session program at the host university.

★ Payment arrangements for students of the Faculty of Liberal Arts

After the credit transfer is finalized at Sophia, the bill for the tuition will be issued.

NB : Contact the Center for Student Affairs for questions about tuition support scholarship while studying abroad.

For tuition and other fees for the second year in study abroad, contact the Center for Academic Affairs (1st fl, Bldg. No.2) .

◎ University-designated Study Abroad Insurance and Crisis Management Service

All Sophia students planning to study abroad (including those by leave of absence or by General Study Abroad Program) are required to purchase a university-designated study abroad insurance and crisis management service for the period away from Japan. Insurance fees must be paid at the responsibility of a student, but at a discounted price. Please visit the Center for Global Education and Discovery (1 st fl, Bldg. No. 2) at least one month before departure to receive insurance information.

◎ Sophia Exchange Program Application Procedures

[A] Application Deadlines and Selections

Application deadlines and selection dates depend on the areas where the host universities are located. Internal selections are usually conducted about 10 months before the departure for study abroad.

Information on exchange partner institutions(P.41~53)are subject to change without notice.

Please refer to our website for the most updated information.

[B] Eligibility and Requirements

- ・ Grade Point Average of 2.8 or above
- ・ Sufficient language proficiency to study abroad*
- ・ Financial backing
- ・ Students who plan to apply for exchange program should have finished at least 2 semesters and have obtained more than 32 credits at Sophia by the time he/she begins the exchange period. (For graduate program students, 10 or more credits are required.)
- ・ Students who plan to apply for exchange program should take a medical check held by Sophia every year. Students may not be allowed to study abroad depending on the results of medical check.
- ・ Students who plan to apply for exchange program should purchase required travel insurance and crisis management service (approx. ¥150,000/year) at Sophia.

* Submission of TOEFL iBT® score is compulsory for the applicants for English-speaking institutions, even for native speakers.

[C] Notes of Importance

After internal screening at Sophia, nominated students will be screened by the host universities.

For students with the GPA below 3.0, the risk of rejection by the host universities becomes higher than those with the GPA 3.0 or above.

(1) Number of semesters to be completed at Sophia before going on exchange

The year the students must be in at the start of the exchange period is indicated on the list of exchange partners. (Cf. P.43～) Freshmen may not apply for the universities indicated as “3,” but they can submit the application for the universities indicated as “2.” In addition, for exchange programs starting in the spring semester, those who entered in the autumn semester may have a chance to apply for the universities indicated as “3” (i.e. Students may be able to go on exchange from their 4th semester in some cases). For further details, consult with the Center for Global Education and Discovery.

(2) Graduate students who wish to apply for the exchange program

Some exchange partner universities do not accept graduate students, and the office needs to make inquiries about individual case to a host university in advance. Please consult with the Center for Global Education and Discovery at least one month prior to the internal selection application deadline.

(3) Period of study abroad

Period of study abroad will be either one year (10-12 months) or one semester (4 months). Students cannot change the period of exchange program after the results of the internal selection are finalized. However, if the academic calendar of the host university ends before the Second / Fourth Quarter of Sophia University, students may shorten their exchange period to take classes offered in the Second or Fourth Quarter (only applicable to one-year exchange students). For details, consult with the Center for Global Education and Discovery. A separate application must be filled in for “General Study Abroad” or “Leave of Absence” when a student wishes to continue to study abroad after the exchange period. One-semester study abroad is possible in some universities only. Students can only participate in the exchange program once, except in case of combining LAP / SAIMS program and exchange program.

The maximum period allowed to be included into the residence requirement (8 semesters) in case of combining the exchange program and LAP/SAIMS is also up to one year only.

[D] Application Materials**(1) Certificate of Language Proficiency**

● English-speaking institutions

A TOEFL iBT® score is required for the internal selection and IELTS™ score is required for UK institutions. Apart from this, each institution has the minimum language requirement.

In general, a TOEFL iBT® score is required. Some institutions accept

TOEFL ITP® score and IELTS™ score as well.

● German-speaking institutions

Applicants from departments other than Dept. of German Literature or German Studies should submit one of the following materials:

- 1) pre-level or above of the German Diploma in Japan
- 2) a certificate of the Goethe-Institut examination (B1 or above)
- 3) a letter of recommendation from an instructor of Sophia which indicates applicant's level of language proficiency in the German language

● French-speaking institutions

Applicants from departments other than Dept. of French Literature or French Studies should submit one of the following materials:

- 1) a certificate of DELF B1 or TCF B1 or DAPF level 2 (仏検2級) or above
- 2) a letter of recommendation from an instructor of Sophia which indicates applicant's level of language proficiency in the French language

● Spanish-speaking institutions

Applicants from departments other than Dept. of Hispanic Studies should submit one of the following materials:

- 1) a certificate of DELE B1 or above
- 2) a letter of recommendation from an instructor of Sophia which indicates applicant's level of language proficiency

● Italian-speaking institutions

Applicants should submit a letter of recommendation from an instructor of Sophia who is a native Italian speaker in principle, or certificates which indicate applicant's sufficient level of language proficiency in the Italian language.

● Portuguese-speaking institutions

Applicants from departments other than Dept. of Portuguese Studies should submit a letter of recommendation from an instructor of Sophia or certificates which indicates applicant's sufficient level of language proficiency in the Portuguese language.

● Russian-speaking institutions

Applicants from departments other than Dept. of Russian Studies should submit a letter of recommendation from an instructor of Sophia or certificates which indicates applicant's sufficient level of language proficiency in the Russian language.

● Chinese-speaking institutions

Applicants should submit a letter of recommendation from an instructor of

Sophia who is a native Chinese speaker in principle, or certificates which indicate applicant's sufficient level of language proficiency in the Chinese language.

● **Korean-speaking institutions**

Applicants should submit a letter of recommendation from an instructor of Sophia who is a native Korean speaker in principle, or certificates which indicate applicant's sufficient level of language proficiency in the Korean language.

- (2) **Application Forms for the Sophia Exchange Program**
- (3) **Host Institutions Preference Sheet**
- (4) **Pledge, Approval from your Guarantor and the Chairperson of the Department**
- (5) **Most Recent Academic Record printed out from "Loyola"**
- (6) **Most Recent Official Academic Transcript (in English)**
- (7) **Health Certificate Issued by Sophia Health Center**

* Information on application procedures will be announced on "Loyola" bulletin boards or download center. Please carefully read the information distributed by the Center for Global Education and Discovery.

[E] Internal Selections

- (1) Screening by application materials
- (2) Interview

The selection of the outgoing exchange students are generally conducted based upon ① proficiency in the foreign language (TOEFL iBT® score for English-speaking institutions), ② GPA, and ③ marks at the interview.

[F] Procedures after Internal Selection

Nomination to Exchange Partner Institution

Students who pass the internal selection will be nominated to a partner institution. The nomination from Sophia does not guarantee the acceptance from the host university. The host university will determine acceptance / rejection of the nominee based on its screening process.

The following conditions must be met in order to study abroad as an exchange student;

- (1) To be officially accepted by an exchange partner institution
- (2) To keep grade point average of 2.8 or above after internal selection
- (3) To maintain good health in their mental and physical condition.

Documents to be Submitted

Application form for Study Abroad, Pledge, etc.

The Center for Global Education and Discovery will inform the successful students of necessary paperworks. Housing arrangement will be made through host institution in most cases, but in some cases, students may need to look for a room on their own. Residential situations differ depending on regions or institutions.

Most frequently required documents by American universities: application forms, recommendation letter, transcript, financial statement, health form including immunization records, official TOEFL® Score*, etc.

*Some exchange partner institutions require the official score report to be sent through ETS after Sophia selection. It is therefore desirable that the score has enough remaining period of validity.

Some exchange partner institutions will require official scores of GRE or GMAT from graduate students after Sophia selection.

Exchange students must submit a "Report on Study Abroad" within one month after returning to Japan.

◎ **Information Available on Loyola**

(Bulletin board and download center of the Center for Global Education and Discovery)

- Information on applications for Sophia Exchange Program
- Other study abroad programs
- Scholarships for study abroad etc.
- Course catalogs of exchange partner institutions
- Reports written by former exchange students

Center for Global Education and Discovery (1st fl, Bldg. No.2)	
Office Hours	10 : 00~11 : 30 / 12 : 30~15 : 30 (Mon. ~ Fri.) Aug, Sep, Feb, March 12 : 30~15 : 30 (Mon. ~ Fri.)
Web site	https://www.sophia.ac.jp/jpn/global/index.html

個人情報保護について

上智大学の個人情報保護への取組みについては下記URLをご参照ください。

<https://www.sophia.ac.jp/jpn/info/privacypolicy/index.html>

Please refer to the following URL on our approach to the Personal information protection.

<https://www.sophia.ac.jp/eng/info/privacypolicy/index.html>